

プログラムコントローラー

取扱説明書

工事説明付き

品番 **WZ-610**

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。そのあと保存し、必要な
ときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入
を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使うって上手に節電

もくじ

取扱説明

安全上のご注意	2
はじめに	4
各部の名前と働き	5
操作のしかた	
プログラムの実行と停止	6
機能キー（F1,F2）の操作	8

プログラミング

プログラミング作業の手順	10
プログラミングチャートの作成	11
メニュー画面の構成	12
設定メニュー	13
プログラムメニュー	19
テストメニュー	35

工事説明

※販売（工事）店様へ

工事を始める前に	38
ラックへの取り付けかた	40
接続のしかた	41

故障と思われましたら	47
仕様	50
プログラミングチャート	51
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。



警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

- ただちに本機の電源コードを抜き、販売店にご連絡ください。

分解しない、 改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに本機の電源コードを抜き、販売店にご連絡ください。

ぬれた手で電源プラグ の抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

電源コードは、必ずプ ラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を越えると発熱による火災の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



禁止

傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

はじめに

このたびは、プログラムコントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は公共施設、店舗、職場などで館内放送サービスを制御するための装置です。始業、休憩時間や終業の合図となる音楽やチャイムをあらかじめプログラムした曜日の指定時刻に演奏させることができます。

- 各曜日に割り当てた7日分のプログラムを書き込めます。プログラム総数は4000ステップです。
- 1週間の繰り返し以外のプログラムは2つの機能キーに割り当てておき、ワンタッチで実行できます。例えばある曜日を「祝祭日パターン」に切り換える、店舗の営業時間を延長するパターンに切り換える、特定のアナウンスやチャイム放送を起動するなどの場合に便利です。
- RS-232Cポートはパソコンとつなぎバックアップファイルの保存などができます。またCDミュージックプレーヤーとつないで指定曲の演奏の起動にも使えます。
- 内部時計の時刻補正は3通りの方法から選択できます。
TVアンテナを接続して放送波の時報音で補正/FMチューナーの時報音で補正/親時計につなぎ補正

使用上のお願い

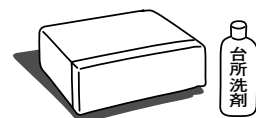
表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をご覧ください。

- 本機には停電補償の電池が内蔵されています。**電池の寿命は約5年です**。液晶に「バックアップ バッテリー コウカン シテクダサイ」と表示されましたら、早めに販売店に交換を依頼してください。電池交換は専門技術が必要です。
- 本機は電源スイッチを持っていません。本機を電源から遮断するときは**電源コードを抜いてください**。設置条件により容易に電源コードを外せないときは、本機の電源コードを遮断能力のある分電盤の**サーキットブレーカーを経由したACコンセント**または**電源制御ユニットWU-L62などのコンセント**に接続してください。
- 長期間電源を遮断したあと**再び使用を開始するときは**、手動操作で内部時計の時刻を合わせてください。内部時計の誤差は月差±5秒ですが、電源遮断中に誤差が累積して時刻自動補正の範囲を超えている可能性があります。手動による内部時計合わせの操作は13ページ**内部時計の設定**をご覧ください。
- 時刻修正のため音声入力に接続したFMチューナーはNHK-FMに正しく同調させてください。また出力ボリュームがあるときは最大にし、受信モード(MONO-STEREO)はMONOにしてください。
- 時刻修正の親時計は30秒式のものをお使いください。本機は1秒式親時計では時刻補正ができません。

お手入れのしかた

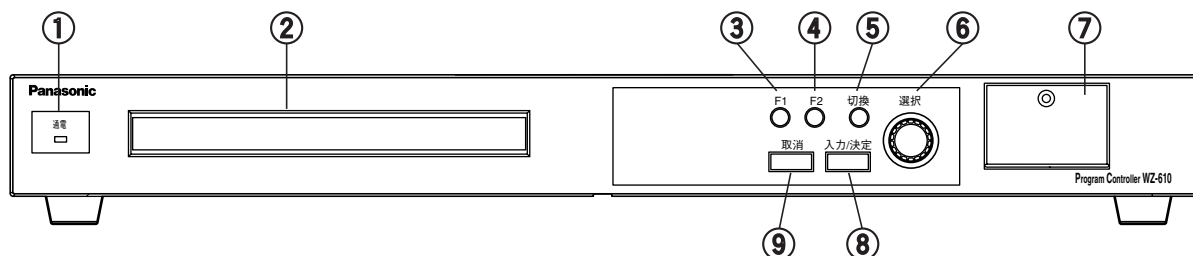
- 電源コードをコンセントから抜いて、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤(中性)をやわらかい布に浸み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。
- ベンジン、シンナーなどを使用すると、変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



~~ベンジン
シンナー
殺虫剤~~

各部の名前と働き

[前面パネル]



① 通電表示灯（緑）[通電]

電源が供給されているときに点灯します。

② 液晶表示部

右図にあるように液晶には時計表示画面、メインメニューや設定メニューなど各種のメニュー画面、確認画面などが表示されます。

③ 機能キー [F1]

周期的でないパターン(例えば祝祭日用のプログラム)をこのキーに割り当てておき、ワンタッチで平日パターンから切り換える場合に使います。その他特定のチャイムやCDプレーヤーの曲を演奏させる割り当てもできます。
(操作方法・・・8ページ、割り当て方法・・・30ページ)

④ 機能キー [F2]

働きは [F1] と同じです。

⑤ 切換キー [切換]

プログラムの実行/停止をするときに操作します。

⑥ 選択ダイヤル [選択]

主にプログラミングのときに操作します。ダイヤルを回転して液晶画面上のカーソルを左右に移動します。もう一つの働きとしてカーソルが固定された状態でパラメーターをスクロールして希望の値を得ることができます。

⑦ RS-232Cポート

ねじをゆるめてふたを開けます。パソコンをつなぎプログラム内容のダウンロード(本機からパソコンへ)、アップロード(パソコンから本機へ)を行います。前面のこのポートは一時的につなぐ用途に使用します。常に接続しておく機器は背面にあるもう一つのRS-232Cポートを使用します。

⑧ 入力/決定キー [入力/決定]

下位メニューを選択するとき、カーソルがある項目の表示中のパラメーターを入力するときこのキーを押します。

⑨ 取り消しキー [取消]

上位メニューに戻るとき、直前に行った操作を取り消すときこのキーを押します。

時計表示 (初期状態)

1999/01/01 Fri 00:00:00

時計表示 (プログラム実行中)

1999/04/01 Thu 15:20:57

メインメニュー

メインメニュー

1.セッテイ 2.7°プログラム 3.テスト

設定メニュー

1.セッテイ メニュー

1.ナイトゲイ 2.TVチューナCH 3.ジボウレベル 4.LCDバ

確認画面

1-2.TV チューナ CHセッテイ

ジボウジュシズル CH:VHF 03 OK?

操作のしかた

プログラムの実行と停止

プログラムを実行する

1. 時計画面

電源を入れたときやまだプログラムを実行していないとき（時計画面）が表示されます。

[切換]キーを押します。

（実行確認画面）が表示されます。

2. プログラムを実行するとき

[入力/決定]キーを押します。プログラムが実行されて、（実行中画面）が表示されます。画面の下段には「実行中：パターン名（例ではパターンA）」が表示されます。

3. 実行しないとき

（実行確認画面）表示中に[取消]キーを押すと時計表示に戻ります。

プログラムを停止する

1. 実行中表示

プログラム実行中に[切換]キーを押します。

（停止確認画面）が表示されます。

2. プログラムを停止するとき

プログラムを停止するとき[入力/決定]キーを押します。プログラムが停止して、時計画面が表示されます。

3. 停止しないとき

確認画面表示中に[取消]キーを押すとプログラムの実行を続けます。

時計画面

1999/04/01 Thu 15:20:57

実行確認画面

プログラムヲジッコウシマスカ？

OK

実行中画面

1999/04/01 Thu 15:20:57

ジッコウチュウ: パターン A

実行中画面

1999/04/01 Thu 15:20:57

ジッコウチュウ: パターン A

停止確認画面

プログラムヲテイシシマスカ？

OK

時計画面

1999/04/01 Thu 15:20:57

メモ

時計画面の左端に「L」が表示されているときは、キーロック（キー操作無効）になっています。次ページにある方法でロックを解除してからプログラムの実行と停止を操作してください。

時計画面（キーロック状態）

1999/04/05 Mon 03:18:24

プログラム実行中の表示

●正常なとき

プログラムが正常に実行されているとき（実行中画面）が表示されます。

●エラーメッセージ（設定パターンなし）

曜日にパターンが設定されていないとき表示されます。
[切換]キーを押すと停止確認画面が表示されます。

●停止確認画面

曜日のスケジュールにパターンを設定するときは、
[入力/決定]キーを押してプログラムの実行を停止します。
スケジュール（28ページ）でパターンを設定してください。

そのままプログラムの実行を続けるときは[取消]キーを押します。

●エラーメッセージ（入力プログラムにエラー）

イベント設定時刻の重複や前後関係の矛盾、プレーヤーの指定事項に誤りがある場合表示されます。

●エラー箇所画面

[入力/決定]キーを押してエラー箇所画面を表示します。

メモ

詳しくは48, 49ページ各種のエラー表示をご覧ください。

実行中画面

1999/04/01 Thu 15:20:57
ジッコウチュウ: パターン A

設定パターンなし

1999/04/01 Thu 15:20:57
ジッコウチュウ: ** セッテイパターンなし **

停止確認画面

プログラムヲ テイシ シマス ?
OK

プログラムエラー画面

プログラムニ エラーガ アリマス !
OK

エラー箇所画面

パショ: パターン A リレ 1 ステップ 37
ナイヨウ: ジョクカンケイジヨウ OK

キーをロックする・解除する

前面パネルのキーが誤って押されても影響がないように、また部外者が操作できないようにするために、キーロックをかけることができます。

■キーをロックする

1. [取消]キー

時計表示中に [取消]キーを3回押します。

2. [選択]ダイヤル

[選択]ダイヤルを右に3クリック、左に3クリック回します。

3. 再度[取消]キー

再度[取消]キーを3回押します。画面左上にロック状態の“L”が表示されます。

■キーロックを解除する

キーロックの状態です、上の“キーをロックする”と同じ操作をするとロックが解除されます。画面に表示されていた“L”が消えます。

メモ

前面パネルの機能キー、後面パネルに接続するダイレクトキー（現地制作）にはキーロックがかかりません。必要な場合は、スイッチプロテクターなどで機械的な保護をしてください。

時計画面

1999/04/05 Mon 03:18:24

時計画面（キーロック状態）

L 1999/04/05 Mon 03:18:24

操作のしかた

機能キー（F1,F2）の操作

「周期的に繰り返さないプログラム」は前面パネルの機能キー（F1,F2）にあらかじめ割り当てることができます。ここでは割り当てたプログラムの操作方法と働きを説明します。割り当ての方法は30ページ機能キー（F1,F2）の設定をご覧ください。

操作の方法

プログラム実行中に機能キー（F1またはF2）を押します。

働き

割り当てられたプログラムによって次のように動作します。

■実行パターンを切り換える

平日パターン実行中に、F1に割り当てられた営業時間延長パターンを実行する例です。

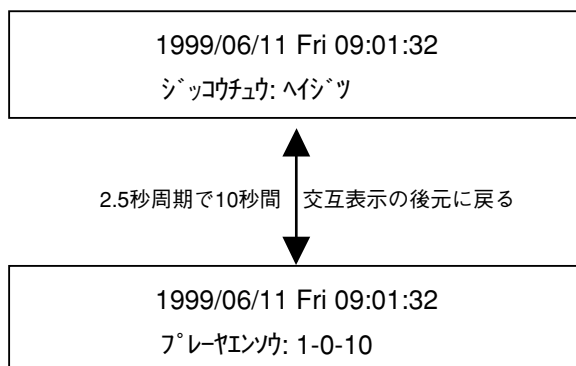
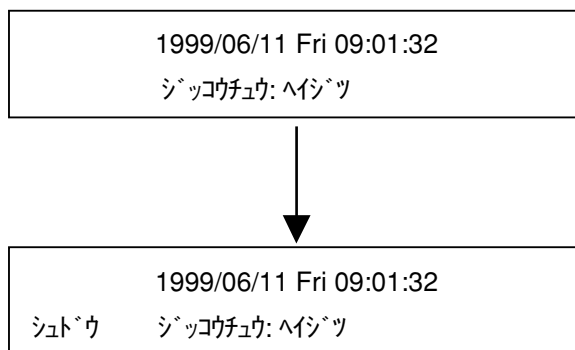
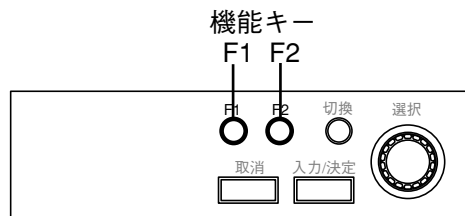
1. その日の正午に時間延長することを決め、F1キーを押します。それまで実行されていた平日パターンは停止され、代わって時間延長パターンが実行されます。時計表示中に機能キーが押されると、画面左下に「手動」と表示されます。
2. 平日の閉店時刻午後7：00に「蛍の光」は放送されずに通常のBGMが継続されます。
3. 延長パターンの閉店時刻午後9：00に「蛍の光」が放送されます。
4. 時間延長パターンは午前0：00に翌日に登録されているパターンに切り替わり画面の「手動」表示は消えます。

メモ

- この例ではすべてのパターンが00:00:00に開始して23:59:59に終了する設定になっています。
- 切り換えた実行パターンを翌日になる前に元に戻すには、6ページのプログラムを停止する→プログラムを実行するの順に操作します。元のプログラム実行に戻ります。

■CDミュージックプレーヤーの1曲を演奏をする

1. 機能キーが押されるとCDの指定された曲が演奏を開始します。時計表示中に機能キーが押されたとき、表示画面は10秒間交互表示して元に戻ります。
2. その曲が終了するとCDミュージックプレーヤー自身で演奏を停止します。



メモ

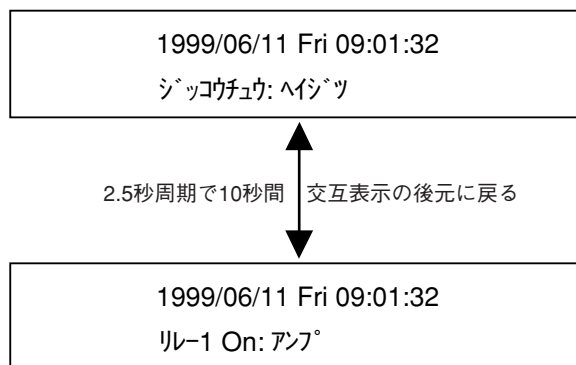
- プログラムコントローラーから演奏の停止は制御できません。一旦演奏を開始した後はその曲の終了でCDミュージックプレーヤー自身が演奏を停止します。
- 機能キーで起動した曲の演奏中にその日のパターンが別の曲を起動する時刻になったとき、パターンの指定が優先されます。機能キーによる曲の演奏は停止され、その日のパターンの曲が演奏されます。

■1つのリレーをOnする（アンプ電源を入れてマイクで放送する例）

1. 機能キーが押されるとリレー1がOnしてアンプ電源が入ります。時計表示中に機能キーが押されたとき、表示画面は10秒間交互表示して元に戻ります。
2. マイクロホンで放送します

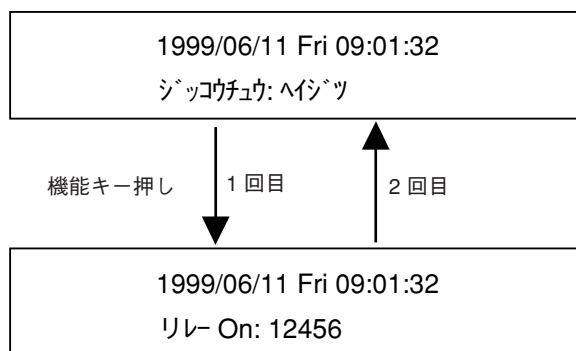
メモ

- この例で一旦Onしたリレー1は“平日パターンのステップでOffが実行される”まで状態を保持します。
- 機能キーの設定（30～33ページ）でリレーのTgl（反転）を登録した場合、再度機能キーを押すとアンプ電源は切れて元の状態に戻ります。



■複数のリレーをOnする（アンプ電源を入れてチャイムを鳴らしてマイクで放送する例）

1. 機能キーが押されると指定されたリレーがOnします。リレー1でアンプ電源を入れ、リレー2でチャイム演奏をし、リレー4,5,6で放送エリア制御をします。液晶は、1回目の機能キー押しで時計表示から動作リレー番号表示に変わり、2回目の押しで元の表示に戻ります。
2. マイクロホンで放送します
3. 再度機能キーを押すと元の状態に戻ります。



メモ

機能キーはキーロック（操作を無視する機能）をすることができません。必要な場合、機械的な保護を施してください。

プログラミング作業の手順

プログラミング作業の手順

プログラミングの計画から実行までを次のようなステップで行います。

-
- 1. プログラミングチャートの作成** **11 ページ**
実行するプログラムをプログラミングチャートA、プログラミングチャートBに記入します。51～53ページのチャートをコピーして使用してください。チャートAはパターン名登録表、スケジュール登録表、リレー名の他各種の設定の記入用です。チャートBには「パターン」（一日24時間単位のプログラム）を記入します。

 - 2. 各種の設定をする** **(1. 設定メニュー)** **13 ページ**
内部時計や時刻補正の設定をします。

 - 3. プログラムをパターンに入力する** **(2. プログラムメニュー)**
一日分のプログラムを一つのパターンとして入力します。
 - リレーに名前を付ける **(2-1. リレー名前)** **19 ページ**
液晶に「CD」、「チャイム」の様にわかりやすく表示させるために入力します。
 - パターンを入力する **(2-2. パターン)** **21 ページ**
パターン名、リレーの動作、プレーヤー演奏などを入力します。

 - 4. パターンをスケジュールに入力する** **(2-3. スケジュール)** **29 ページ**
入力された個々のパターンを曜日に割り付ける作業（スケジュール）をします。

 - 5. 機能キー（F1,F2）の働きを定義する** **(2-4. キー応答)** **30 ページ**

 - 6. プログラムを実行する/停止する** **(操作のしかた)** **6 ページ**

 - 7. テストを実行する** **(3. テストメニュー)** **35 ページ**
-

プログラミングチャートの作成

プログラミングチャートの作成

プログラミングは、BGMマシンやチャイム演奏装置などを何曜日の何時に動かすかを計画することです。書き込まれたプログラムが実行されると内蔵のリレーが指定曜日の指定時間にBGMやチャイムの演奏をコントロールします。巻末にあるチャート用紙をコピーして記入してください。

●プログラミングチャートA

「パターン」は一日24時間分のプログラムセットです。7パターンまで登録できます。「スケジュール」はどのパターンをどの曜日に実行するかを割り当てることです。チャートの記入例を参考にしてください。

パターン名登録表	
(平日用、祝祭日用のように記入)	
パターンA [日曜日用]	
パターンB [平日用]	
パターンC [土曜日用]	
パターンD [祝祭日用]	
パターンE []	
パターンF []	
パターンG []	

スケジュール登録表	
(各曜日に設定するパターン記号/名を記入)	
日曜日(Sun) [パターンA (日曜日用)]	
月曜日(Mon) [パターンB (平日用)]	
火曜日(Tue) [パターン実行なし (休業)]	
水曜日(Wed) [パターンB (平日用)]	
木曜日(Thu) [パターンB (平日用)]	
金曜日(Fri) [パターンB (平日用)]	
土曜日(Sat) [パターンC (土曜日用)]	

●プログラミングチャートB

一つのパターンの24時間分をプログラミングします。

パターン記号： A (B) C D E F G

パターン名：平日用

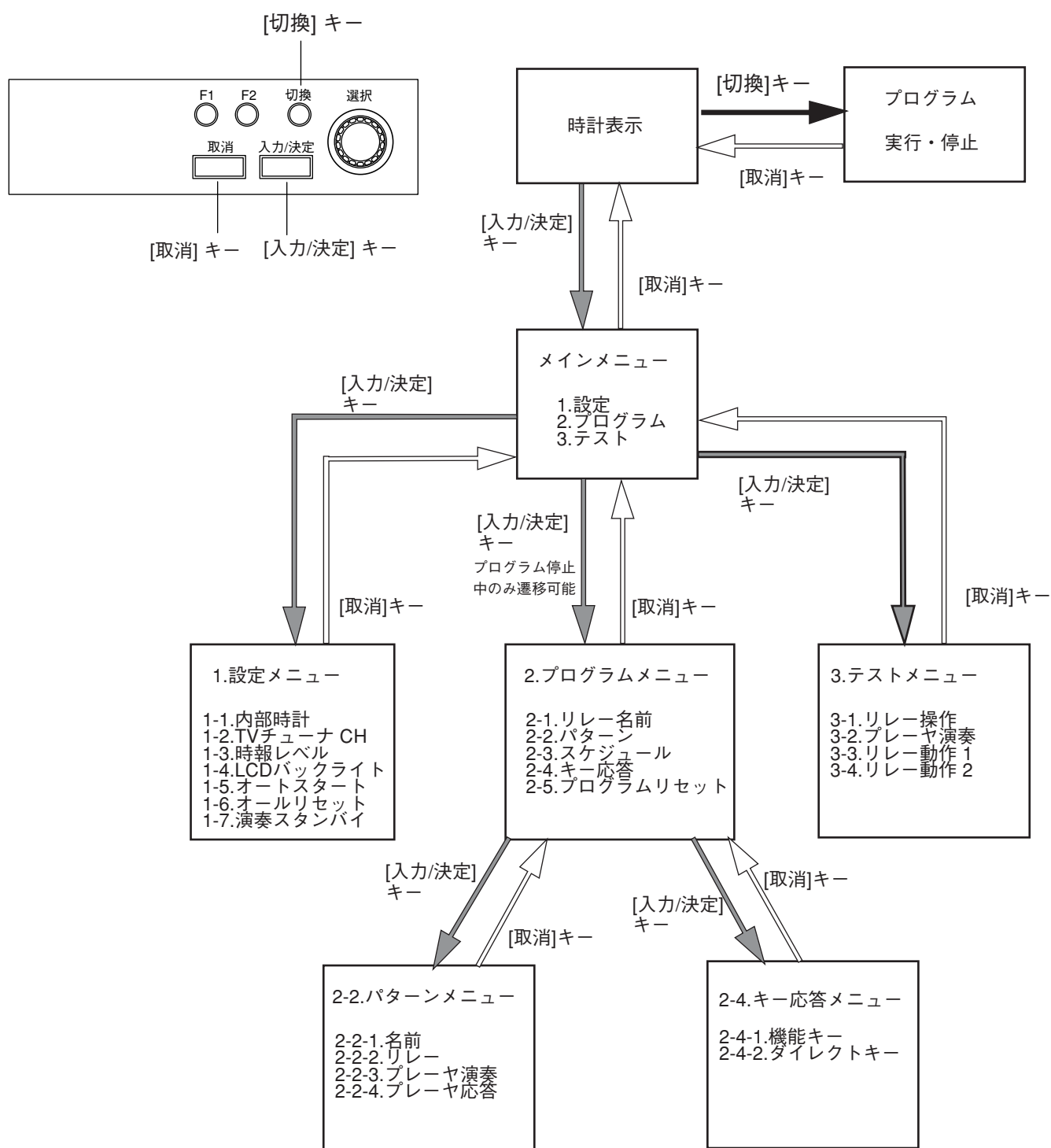
チェック	リレー番号	プレイヤー 演奏 Dsc# - CH# - Sng#	開始時刻	終了時刻	備考
	1 2 (3) (4) 5 6 7 8	1-0-01	09:55:00	(10:00:00)	開店5分前
	(1) (2) (3) (4) 5 6 7 8	1-0-02	10:00:00	10:03:20	開店放送
	(1) (2) (3) (4) (5) 6 7 8	- -	10:03:20	11:59:59	店内BGM午前
	(1) (2) (3) (4) 5 6 7 8	1-0-03	12:00:00	12:00:07	昼のお知らせ
	(1) (2) (3) (4) (5) (6) 7 8	- -	12:00:07	14:59:59	店内BGM午後1
	(1) (2) (3) (4) 5 6 7 8	1-0-04	15:00:00	15:00:10	3時のお知らせ
	(1) (2) (3) (4) (5) (6) 7 8	- -	15:00:10	16:59:59	店内BGM午後2
	(1) (2) (3) (4) 5 6 7 8	1-0-05	17:00:00	17:00:05	夕刻のお知らせ
	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) 8	- -	17:00:05	18:56:59	店内BGM夕刻
	(1) (2) (3) (4) 5 6 7 8	1-0-07	18:57:00	19:05:00	閉店放送
	1 2 (3) (4) 5 6 7 8	1-0-08	20:00:00	20:05:00	終業案内放送

プログラミング

メニュー画面の構成

下の図は液晶に表示されるメニューの種類とそれらメニュー間の移動を示します。

1、1-1、1-2などのメニュー番号は液晶画面の上の行に表示されます。メニュー番号は桁数が多いほど階層が深いことを示します。



1. 設定メニュー

設定メニュー

内部時計の設定 (1.1 ナイブドケイ)

最初に内部時計の設定をします。

1. 時計画面

電源投入時は時計画面が表示されます。(画面1)

2. メインメニュー

時計画面状態で[入力/決定]キーを押すとメインメニュー(画面2)が表示されます。

メインメニューから時計画面へ戻るときは[取消]キーを押します。

3. 設定メニュー

メインメニュー表示中に、[選択]ダイヤルを回してカーソルを1.セッテイ(設定メニュー)に移動して、[入力/決定]キーを押します。1.セッテイメニュー(画面3)が表示されます。

4. 内部時計メニュー

1.セッテイメニュー表示中に、[選択]ダイヤルでカーソルを1.ナイブドケイに移動して[入力/決定]キーを押します。1-1.ナイブドケイメニュー(画面4)が表示されます。

5. 年合わせ

[選択]ダイヤルを回すと2000,2001,2002の様にスクロールします。希望年を表示させて[入力/決定]キーを押します。カーソルが月に移動します。(画面5)

6. 月日時分合わせ

5の操作と同様に[選択]ダイヤルと[入力/決定]キーを使って順次“月”、“日”、“時”、“分”の設定を行います。曜日は内部カレンダーが管理していますので入力する必要はありません。

(画面6,7,8)

7. 00秒合わせ

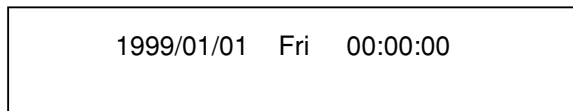
分合わせを終了すると確認画面(画面9)が表示されます。

電話の117番時報で分の00秒に合わせて[入力/決定]キーを押します。

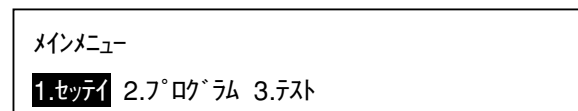
メモ

設置工事の直後や長期間電源を遮断して使用を再開するときこの操作を行ってください。遮断中に内部時計の誤差が累積して自動補正範囲(親子時計±15秒、時報音±5秒)を越える場合があります。

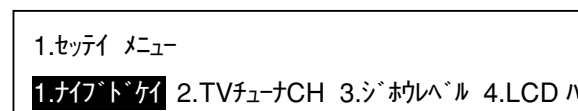
画面1



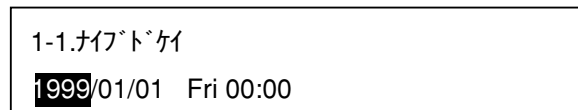
画面2



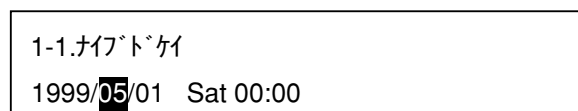
画面3



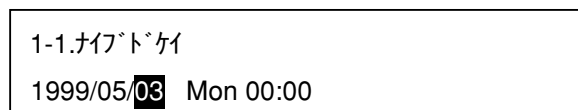
画面4



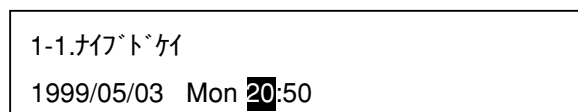
画面5



画面6



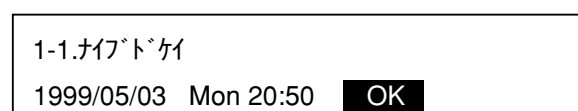
画面7



画面8



画面9



1. 設定メニュー

時刻補正について

内部時計補正の「基準となる信号」を次の3通りから電波状況や親時計の有無に合わせて選択してください。

- 1.親時計による補正(補正時刻 7:00, 13:00, 19:00 補正範囲±15秒)
- 2.FMチューナーからの音声による補正(補正時刻 12:00 補正範囲±5秒)
- 3.TVチューナーからの音声による補正(補正時刻 12:00 補正範囲±5秒)

音声による時刻補正は、内蔵TVチューナー(音声専用ですので映像を見ることはできません)や外部FMチューナーからの時報(ピ、ピ、ピ、ポーン)の880Hz音で行われます。この音はNHK総合やNHK教育チャンネルで放送される正午の時報などに含まれています。テレビやFMが正常に受信されているかどうか自動時刻補正入力の接続(43, 44ページ)を確認してください。また受信音声が正常に聞こえることをヘッドホン(テレビ音声による補正のとき)やスピーカー(FM放送による補正のとき)で確認してください。

TV受信チャンネルの設定 (1.2TVチューナCH)

1. 設定メニュー

[選択]ダイヤルで2.TVチューナCHにカーソルを置きます(画面10)。**[入力/決定]**キーを押すと(画面11)が表示されます。

2. 受信チャンネルの設定

[選択]ダイヤルで受信するチャンネルを表示させ(画面12)で**[入力/決定]**キーを押します。チャンネルはVHF 1~12、UHF 13~62の中から選択できます。

3. 確認画面

確認画面(画面13)で希望チャンネルが表示されていれば**[入力/決定]**キーを押します。(画面10)に戻ります。

変更するときは**[取消]**キーを押してもう一度チャンネル設定をします。

画面10

1.セッテイメニュー
1.ナイトドグイ 2.TVチューナCH 3.シボウレベル 4.LCDバ

画面11

1-2.TVチューナCHセッテイ
シボウデュシスルCH:VHF 03

画面12

1-2.TVチューナCHセッテイ
シボウデュシスルCH:VHF 03

画面13

1-2.TVチューナCHセッテイ
シボウデュシスルCH:VHF 03 OK?

メモ

受信チャンネルの設定は、NHK教育チャンネルまたはNHK総合のどちらかにしてください。
また両方チャンネルの受信地域ではNHK教育チャンネルに設定されることをおすすめします。

時報レベルの設定

この設定はテレビジョン放送、FM放送両方の880Hzに対して共通です。880Hzの音は通常の放送にも含まれていますが、時報では特に純粋で大きな成分になっています。この性質を利用して「しきい値」は「ある値を超える880Hzが来たら時報だ」と判断をするための基準となります。

画面でアスタリスク*は放送波に含まれる880Hz成分の変化をバーグラフのように表示します。■はしきい値を越えた880Hz成分の大きさを示します。しきい値は「時報放送で」「■が4個」「1秒以上表示される」を目安に設定してください。工場出荷時は「0030」に設定されていますが「0020」～「1023」の範囲で調整できます。

1. 設定メニュー

[選択]ダイヤルで3.ジホウレベルにカーソルを置き（画面14）[入力/決定]キーを押します。（画面15）が表示されます。

2. しきい値と受信880Hzの比較

[選択]ダイヤルを回してしきい値を増減させます。

（画面16）では上段のシキイチが0020に減少しています。受信信号がないためバーグラフ表示はありません。

3. しきい値の設定

[選択]ダイヤルを回してしきい値を適切な位置に設定します。時報放送のとき（画面17）のように「■が4個」「1秒以上表示される」設定にしてください。

4. 縮尺の設定

受信信号が大きすぎて*アスタリスクがオーバーフローするとき次の操作をします。

4-1 [切換]キーを押してカーソルをシュクシャク：1/01に移動します。（画面18）

4-2 [選択]ダイヤルで適切な縮尺にします。（画面19）

4-3 [切換]キーを押してカーソルをしきい値に戻します。

5. 確認画面

[入力/決定]キーを押します。確認画面（画面20）が表示されます。設定内容が良ければ[入力/決定]キーを押します。

6. しきい値の再設定

変更するときは[取消]キーを押してもう一度設定をします。

7. 時計表示に戻る

[取消]キーを2回押すと通常表示に戻ります。

画面14

1.セッテイ メニュー
1.ナイブトケイ 2.TV チューナCH 3.ジホウレベル 4.LCDパ

画面15

1-3.ジホウレベル シュクシャク:1/01 シキイチ:0030
■

画面16

1-3.ジホウレベル シュクシャク:1/01 シキイチ:0020

画面17

1-3.ジホウレベル シュクシャク:1/01 シキイチ:0020
***** ■■■■

画面18

1-3.ジホウレベル シュクシャク:1/01 シキイチ:0040

画面19

1-3.ジホウレベル シュクシャク:1/04 シキイチ:0040

画面20

1-3.ジホウレベル シュクシャク:1/04 シキイチ:0040
OK?

メモ

時報音ピッピッピッポーンの「ポーン」が聞こえる間■■■■■が点灯するように設定してください。

1. 設定メニュー

LCD（液晶）バックライト

液晶の照明方法を次の3種類から選択します。工場出荷時は「点灯」になっています。

1. 点灯
2. 消灯
3. キー連動

キー連動は消灯状態のとき前面パネルで何かのキーが押されると点灯し、最後のキー操作から設定された時間（秒）の後消灯します。キー連動の設定範囲は1秒から99秒です。

1. 設定メニュー

[選択]ダイヤルで4.LCDバックライトにカーソルを置きます（画面21）。[入力/決定]キーを押すと1-4.LCDバックライトセッテイ（画面22）が表示されます。

画面21

1.セッテイメニュー
ボウレベル 4.LCDバックライト 5.オートスタート 6.オールセット

2. 設定

[選択]ダイヤルを回して点灯（画面22）、消灯（画面23）、キー連動（画面24）の中から希望の項目を表示させます。点灯、消灯のとき[入力/決定]キーを押します。

画面22

1-4.LCDバックライトセッテイ
バックライト:テントウ

3. キー連動時間設定

キー連動のとき（画面24）が表示されます。[入力/決定]キーを押して（画面25）にします。[選択]ダイヤルで希望の秒数を表示させます（画面26）。[入力/決定]キーを押します。

画面23

1-4.LCDバックライトセッテイ
バックライト:ショウトウ

4. 確認画面

確認画面が表示されます。設定内容が良ければ[入力/決定]キーを押します。変更するときには[取消]キーを押してもう一度設定をします。

画面24

1-4.LCDバックライトセッテイ
バックライト:キーレントウ 01ヒョウ

5. 時計表示に戻る

[取消]キーを2回押すと時計表示に戻ります。

画面25

1-4.LCDバックライトセッテイ
バックライト:キーレントウ 01ヒョウ

画面26

1-4.LCDバックライトセッテイ
バックライト:キーレントウ 15ヒョウ

選択肢ごとの確認画面

点灯のとき

1-4.LCDバックライトセッテイ
バックライト:テントウ OK ?

消灯のとき

1-4.LCDバックライトセッテイ
バックライト:ショウトウ OK ?

キー連動のとき

1-4.LCDバックライトセッテイ
バックライト:キーレントウ 15ヒョウ OK ?

オートスタート

毎日、夜間は電源を遮断する環境で使用されるような場合、翌朝電源投入時にプログラムの実行をどの状態にするか次の3項目から選択して設定します。工場出荷時は「継続」になっています。

継続：電源切断時の状態に復帰します。プログラム停止であればその状態に、プログラム実行であれば実行状態にそれぞれ復帰します。

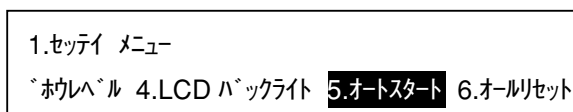
実行：電源投入でプログラム実行状態になります。

停止：電源投入でプログラム停止状態になります。

1. 設定メニュー

[選択]ダイヤルで5.オートスタートにカーソルを置いて(画面27) [入力/決定]キーを押します。1-5.オートスタートセットイ (画面28) が表示されます。

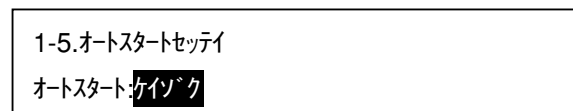
画面27



2. 項目選択

[選択]ダイヤルを回して継続 (画面28)、実行 (画面29)、停止 (画面30) の中から希望の項目を表示させて[入力/決定]キーを押します。

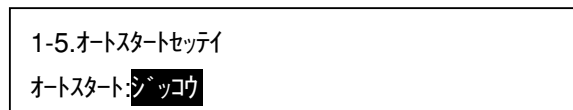
画面28



3. 確認画面

確認画面 (画面31) が表示されます。設定内容が良ければ[入力/決定]キーを押します。変更するときは[取消]キーを押してもう一度設定をします。

画面29



4. 時計表示に戻る

[取消]キーを2回押すと時計表示に戻ります。

画面30



画面31



メモ

表は翌朝電源を投入したときのプログラム実行状態です。実行状態は本設定「オートスタートの設定 (3状態)」と「電源遮断時のプログラム実行/停止 (2状態)」の2要因によって決まります。

本設定	前夜電源遮断時のプログラム実行状態	
	停止のあと遮断	実行中に遮断
継続のとき	プログラム停止	プログラム実行
実行のとき	プログラム実行	プログラム実行
停止のとき	プログラム停止	プログラム停止

1. 設定メニュー

オールリセット

1.設定メニューおよび2.プログラムメニューで登録したすべての内容が消去され、初期状態に戻ります。

1. 設定メニュー

[選択]ダイヤルで6.オールリセットにカーソルを置き
(画面32) [入力/決定]キーを押します。

画面32

1.セッテイメニュー
ボウレベル 4.LCDバックライト 5.オートスタート 6.オールリセット

2. 確認画面

確認画面(画面33)が出ます。実行するときは[入力/決定]キーを押します。

画面33

すべてのデータがリセットされます。よろしいですか?
OK

3. 時計表示に戻る

オールリセットを実行すると時計表示に戻ります。
実行しないとき[取消]キーを3回押すと時計表示に戻ります。

メモ

この操作で消去された登録内容は回復できません。重要なプログラムや設定の内容は、オールリセット実行前に必ずプログラミングチャートに保存してください。なお、内部時計はリセットされません。

演奏スタンバイ

本機後面のRS-232C端子に接続する機器の種別により演奏スタンバイ時間を設定します。

演奏スタンバイ=アリ: CDミュージックプレーヤー(WB-651、WB-655)を接続する場合(工場出荷時設定)

演奏スタンバイ=ナシ: デジタルICプレーヤー(WZ-DP100、WZ-DP200)を接続する場合

画面34

1.セッテイメニュー
4.LCDバックライト 5.オートスタート 6.オールリセット 7.エンソウスタンバイ

1. 設定メニュー

[選択]ダイヤルで7.エンソウスタンバイにカーソルを置いて(画面34)、[入力/決定]キーを押します。

1-7.エンソウスタンバイ(画面35-1)が表示されます。

画面35-1

1-7.エンソウスタンバイセッテイ
エンソウスタンバイ: アリ

2. 項目選択

[選択]ダイヤルを回して[アリ](画面35-1)と[ナシ](画面35-2)を表示させることができます。[入力/決定]キーを押します。

画面35-2

1-7.エンソウスタンバイセッテイ
エンソウスタンバイ: ナシ

3. 確認画面

確認画面(画面35-3)が表示されます。設定内容が良ければ[入力/決定]キーを押します。変更するときは[取消]キーを押してもう一度設定をします。

画面35-3

1-7.エンソウスタンバイセッテイ
エンソウスタンバイ: ナシ OK?

4. 時計表示に戻る

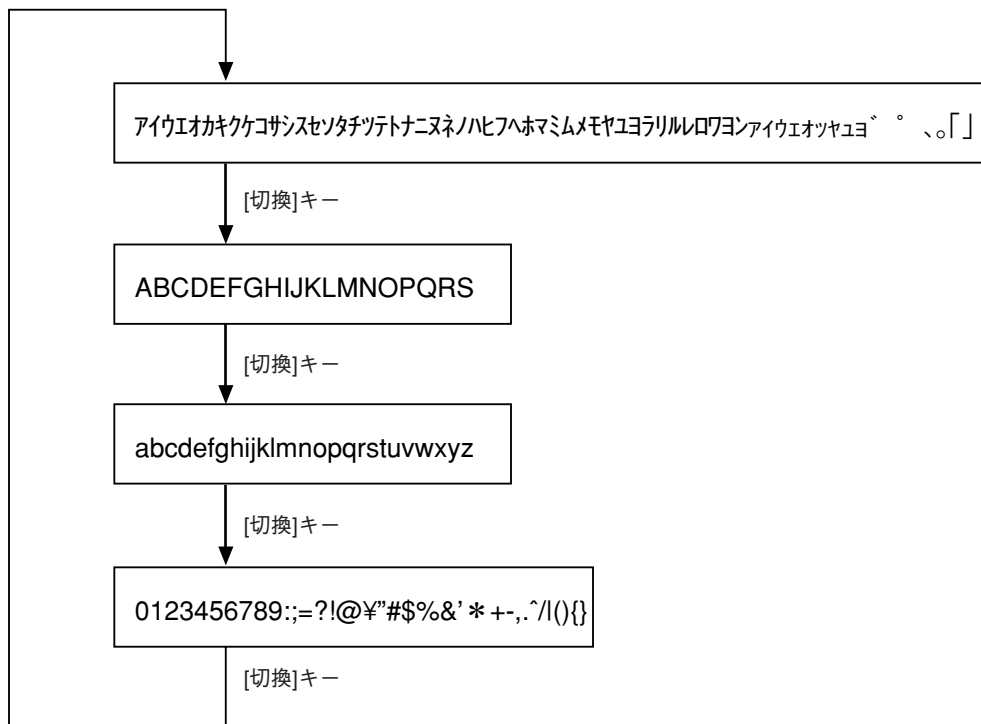
[取消]キーを2回押すと時計表示に戻ります。

メモ

- 演奏スタンバイ[アリ]の場合、スタンバイ時間は約18秒です。(CDディスクチェンジに要する時間)
- 演奏スタンバイ[ナシ]の場合、スタンバイ時間は約1秒です。
- 演奏スタンバイ[アリ]の設定で、本機からデジタルICプレーヤーをRS-232C端子を用いて制御すると、演奏開始の約18秒前からデジタルICプレーヤーの動作中出力信号が出力されます。システムの条件に合わせて適切なスタンバイ時間を設定してください。
- WZ-610プログラミングチャートA「各種の設定登録表」(取扱説明書51ページ)に、「1-7.エンソウスタンバイ」[アリ]または[ナシ]の設定を記録しておくことをおすすめします。

2. プログラムメニュー

2-5 文字種類の切換



「[]」「5」「F」を入力するときは文字種類を切り換えます。上の図のように[切換]キーを押すたびにカタカナ、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字記号の順に文字の種類が切り換わります。続けて「フ」「ロ」「ア」「F」と入力します。

2-6 いったん入力した文字を修正する

- [選択]ダイヤルで矢印(←または→)にカーソルを置きます。(画面43)
- [入力/決定キー]を繰り返し押して上段のカーソルを修正する文字の位置に移動します。
- 希望の文字を入力します。

2-7 一つのリレー名の入力終了

入力が終わったら[選択]ダイヤルで「OK」にカーソルを置き[入力/決定]キーを押します。(画面44)

2-8 確認画面

確認画面(画面45)が表示されます。

入力されたリレー名を確認し良ければ[入力/決定]キーを押して(画面46)を表示します。修正をするときは[取消]キーを押して再度入力します。

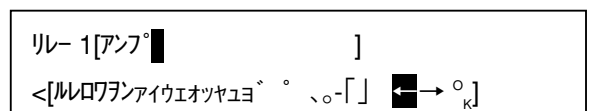
2-9 次のリレー名を入力する

リレー2を選択してリレー1と同じ手順でリレー名を入力します。

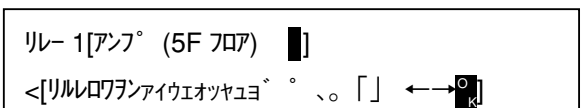
2-10 時計表示に戻る

[取消]キーを3回押すと時計表示に戻ります。

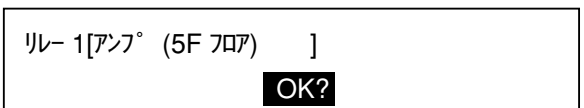
画面43



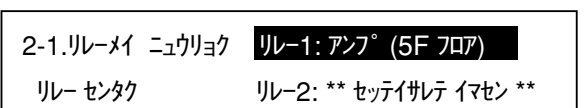
画面44



画面45



画面46



パターン（2-2パターン）

パターンに名前を付ける

A～Gの7種類のパターンを登録できます。名前は平日用、土曜日用、祝祭日用などのように用途が直ぐわかるネーミングをおすすめします。入力できる文字数は16文字までです。

1. プログラムメニュー

[選択]ダイヤルで2.パターンにカーソルを置き（画面47）[入力/決定]キーを押します。2-2パターンメニュー（画面48）が表示されます。

画面47

2.プログラムメニュー
1.リレー名 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウト 5.フロ

2. パターン名入力

[選択]ダイヤルで1.ナマエにカーソルを置き[入力/決定]キーを押します。2-2-1.パターンメニューウリヨク（画面49）が表示されます。

画面48

2-2.パターンメニュー
1.ナマエ 2.リレー 3.フレイエンソウ 4.フレイアウト

3. 名前を付けるパターンを選択する

（画面49）で[選択]ダイヤルを回して名前を付けるパターンを選択し[入力/決定]キーを押します。

画面49

2-2-1.パターンメニューウリヨク A:パターンA
センタ B:パターンB

4. 名前の入力

名前入力の操作方法は“リレーに名前を付ける”（19ページ）と同じ要領です。

パターンにリレーの動作時間を入力する

記入したパターンチャートに従ってリレーの動作時間を入力します。

リレーをON/OFFする過程を1ステップとして、最大999ステップのパターンを7種類まで（ただし総ステップ数は4000）入力し登録できます。

入力を始める前にいくつかの制約事項がありますのでご確認ください。

- 一つのパターンで扱える時間は00:00:00から35:59:59迄です。深夜営業の場合24時以降を使用されると便利です。それ以外は0時から24時を使用してください。
- すべてのパターンで最も早い時刻のステップから最後のステップまでの時間は24時間以内になしてください。
- パターンは後でスケジュールに登録されます。ある日の最も遅いステップ実行時刻が次の日の最も早いステップ実行時刻と前後しないようにプログラムしてください。
- 一つのステップの中で終了時刻は必ず開始時刻の後になるように設定してください。
- 前のステップの終了時刻の後に次のステップの開始時刻を設定してください。
- 相手機器に合わせたリレー動作

制御される機器によって次の二通りの仕様があります。相手機器に合わせてリレーのON-OFFをプログラムします。相手機器の説明書をお読みください。

・保持タイプの機器

（リレーがONで動作を開始し、ONの間動作を保持し、リレーがOFFすると動作を停止する機器）

：プログラミング：開始時刻にリレーをONし終了時刻にOFFします。

・パルスタイプの機器

（1秒間のリレーONで動作開始し、機器自身が動作を保持し、次のリレーONで動作を停止する機器）

：プログラミング：開始時刻に1秒間リレーをONしてOFFに戻します。停止時刻にもう一度1秒間リレーをONしてOFFに戻します。

2. プログラムメニュー

1. パターンメニュー

[選択]ダイヤルで2.リレーにカーソルを置き（画面50）
[入力/決定]キーを押します。

2. パターンを選択する

[選択]ダイヤルでA:パターンAにカーソルを置き（画面51）
[入力/決定]キーを押します。入力されたパターン名、この例ではA:パターンAが表示されます。

3. リレーを選択する

[選択]ダイヤルを回しリレー1を表示させ（画面52）
[入力/決定]キーを押します。

4. ステップ番号の選択

[選択]ダイヤルを回してステップ001>を表示させ（画面53）
[入力/決定]キーを押します。001>の右に開始時刻（リレーをONする時刻）00:00:00が表示されます。

5. 開始時刻（時）の入力

[選択]ダイヤルで希望する時間を表示させ（画面54）
[入力/決定]キーを押します。カーソルが分の位置に移動します。

6. 開始時刻（分）の入力

[選択]ダイヤルを回して希望する分を表示させ（画面55）
[入力/決定]キーを押します。カーソルが秒の位置に移動します。

7. 開始時刻（秒）の入力

[選択]ダイヤルを回して希望する秒を表示させ（画面56）
[入力/決定]キーを押します。開始時刻（リレーをONする時刻）の右側に終了時刻（リレーをOFFする時刻）が表示されます。

8. 終了時刻（時、分、秒）の入力

（画面57）で開始時刻と同じ要領でそれぞれ入力します。
秒で[入力/決定]キーを押すと（画面58）のカーソル部分が点滅します。

9. パターンの入力を終了する

9-1 必要なステップを入力し終えたら[切換]キーを押します。

9-2 [選択]ダイヤルでオワりにカーソルを置き（画面59）
[入力/決定]キーを押します。これで入力した内容が保存されます。

メモ

保存するときは必ず9-1,9-2の手順で操作してください。

画面50

2-2.パターンメニュー
1.ナマI 2.リレー 3.フレイミング 4.フレイアウト

画面51

2-2-2.リレープログラム	A:パターンA
センタ	B:パターンB

画面52

2-2-2.リレープログラム	ニューヨークス	リレ-No.1
A:パターンA	[]

画面53

A:パターンA	0001>
リレ-No.1	0002>

画面54

A:パターンA	0001>09:00:00
リレ-No.1	0002>

画面55

A:パターンA	0001>09:59:55
リレ-No.1	0002>

画面56

A:パターンA	0001>09:59:55
リレ-No.1	0002>

画面57

A:パターンA	0001>09:59:55 10:10:00
リレ-No.1	0002>

画面58

A:パターンA	0001>09:59:55 10:10:00
リレ-No.1	0002>

画面59

カゾヨ ソウユウ オリ	0001>09:59:55 10:10:00
	0002>

パターンにリレーの動作時間を入力する

10. 次のステップに入力する

- 10-1 画面60でカーソルが点滅しているとき[選択]ダイヤルを回して次のステップにカーソルを置き（画面61）、[入力/決定]キーを押します。（画面62）で次のステップ0002>に前ステップの終了時刻が表示されます。
- 10-2 ステップ1と同じ要領で開始時刻と終了時刻を入力します。

画面60

A:パターン A	0001>09:59:55 10:10:00
リレー No.1	0002>

画面61

A:パターン A	0001>09:59:55 10:10:00
リレー No.1	0002>

画面62

A:パターン A	0001>09:59:55 10:10:00
リレー No.1	0002>10:10:00

11 入力したステップを削除する

- 11-1 （画面63）表示中に[選択]ダイヤルで削除するステップにカーソルを置いて[切換]キーを押します。（画面64）が表示されます。
- 11-2 [選択]ダイヤルでサクジョにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。（画面65）が表示されます。ステップ15には従来ステップ16にあった内容が繰り上がっています。

画面63

A:パターン A	0015>11:59:55 11:59:57
リレー No.1	0016>12:10:00 12:10:02

画面64

サクジョ ソウニユウ オリ	0015>11:59:55 11:59:57
リレー No.1	0016>12:10:00 12:10:02

画面65

A:パターン A	0015>12:10:00 12:10:02
リレー No.1	0016>12:20:00 12:30:02

画面66

A:パターン A	0015>11:59:55 11:59:57
リレー No.1	0016>12:10:00 12:10:02

画面67

サクジョ ソウニユウ オリ	0015>11:59:55 11:59:57
リレー No.1	0016>12:10:00 12:10:02

画面68

A:パターン A	0015>11:59:55 11:59:57
リレー No.1	0016>11:59:55 11:59:57

12 ステップを挿入する

- 12-1 （画面66）表示中に[選択]ダイヤルで挿入する一つ前のステップにカーソルを置いて[切換]キーを押します。（画面67）が表示されます。
- 12-2 [選択]ダイヤルでソウニユウにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。（画面68）ではステップ16にステップ15の内容が挿入コピーされています。従来（画面67）でこの位置にあったステップ16の内容はステップ17に順送りされます。
- 12-3 挿入したステップの時刻設定をします。

2. プログラムメニュー

パターンにプレイヤーの演奏開始時間を入力する（2-2-3プレーヤエンソウ）

CDミュージックプレイヤーの指定曲を希望時間に演奏させる制御をします。

接続のしかた（45ページ）の通りになっていることを確認してください。

次の項目を設定します。

- 演奏開始時間を設定する
- 演奏ディスクを指定する（5枚再生機のみ）
- チャンネルを指定する
- 曲番を指定する

この例では「パターンA」に「15時10分00秒」から「ディスク3」の「4チャンネル」にある「8曲目」を演奏する設定の操作を説明します。

1. パターンメニュー

[選択]ダイヤルで3.プレーヤエンソウにカーソルを置き
[入力/決定]キーを押します。

2. パターンの選択

（画面70）で[選択]ダイヤルを回しパターンAにカーソルを置き[入力/決定]キーを押します。

3. ステップの決定

（画面71）で[選択]ダイヤルを回し入力するステップにカーソルを置き[入力/決定]キーを押します。

4. 演奏開始時刻の入力

4-1 演奏時間（時）の入力

（画面72）で[選択]ダイヤルを回し希望の「時」を表示させて[入力/決定]キーを押します。

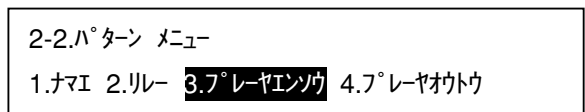
4-2 演奏時間（分）の入力

（画面73）で[選択]ダイヤルを回し希望の分を表示させて[入力/決定]キーを押します。

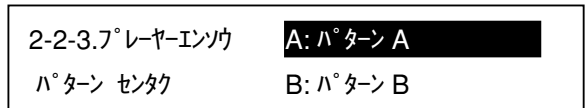
4-3 演奏時間（秒）の入力

（画面74）で[選択]ダイヤルを回し希望の秒を表示させて[入力/決定]キーを押します。（画面75・次ページ）が表示されカーソルが演奏ディスク番号の位置に移動します。

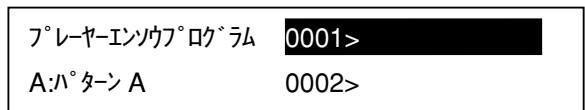
画面69



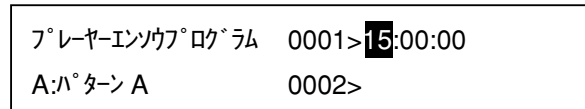
画面70



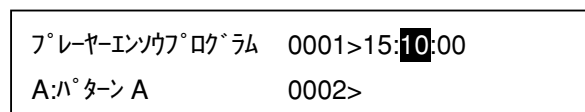
画面71



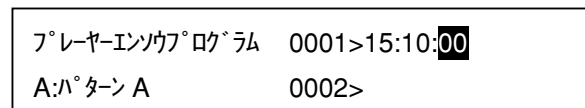
画面72



画面73



画面74



メモ

- 一つのステップの演奏開始時刻はその前のステップの開始時刻から1分以上あけてください。
- 演奏停止およびその後の次曲演奏を制御することはできません。
- CDミュージックプレイヤー（WB-651またはWB-655）にはRS-232Cインターフェース（WB-Z12）を組み込んで使用します。

パターンにプレイヤーの演奏時間を入力する (2-2-3プレーヤエンソウ)

5. ディスク番号の指定

(画面75) で[選択]ダイヤルを回して希望のディスク番号を表示させ[入力/決定]キーを押します。接続しているプレーヤが1枚再生機の場合は1にします。

画面75

プレーヤ-エンソウプログラム	0001>15:10:00	3-0-01
A:パターン A	0002>	

6. チャンネルの指定

(画面76) が表示されカーソルがチャンネルの位置に移動します。

[選択]ダイヤルで希望のチャンネルを表示させて[入力/決定]キーを押します。チャンネルの指定は1枚のディスクに対して全パターンのステップ中で「1から8」または「0」のどちらかにします。カーソルが演奏曲番の位置に移動します。

画面76

プレーヤ-エンソウプログラム	0001>15:10:00	3-4-01
A:パターン A	0002>	

7. 曲番の指定

(画面77) で[選択]ダイヤルを回し希望の曲番を表示させて[入力/決定]キーを押します。(画面78) が表示されます。

画面77

プレーヤ-エンソウプログラム	0001>15:10:00	3-4-08
A:パターン A	0002>	

画面78

プレーヤ-エンソウプログラム	0001>15:10:00	3-4-08
A:パターン A	0002>	

メモ

プレーヤ演奏プログラムの制約事項を説明します。

●チャンネル指定の良くない例を示します。(画面79) では一つのディスクに対してチャンネル指定が「0」とそれ以外が混在しています。チャンネルの指定は1枚のディスクに対して全パターンのステップ中で「1から8」または「0」のどちらかにします。

●演奏開始時間指定の良くない例を示します。

(画面80) ではステップ0001とステップ0002の開始時間が30秒しかあいていません。間隔は1分以上必要です。

●プレーヤ演奏プログラムでは1ステップで複数の曲を指定することはできません。

またリレー動作(21ページ)の入力と同様に以下の制約を受けます。

●一つのパターンで扱える時間は00:00:00から35:59:59迄です。

●一つのパターンで最も早い時刻のステップから最後のステップまでは24時間以内にしてください。

●パターンは後でスケジュールに登録されます。ある日の最も遅いステップ実行時刻が次の日の最も早いステップ実行時刻と前後しないようにプログラムしてください

画面79

プレーヤ-エンソウプログラム	0001>16:10:00	3-0-08
A:パターン A	0002>16:11:00	3-4-09

画面80

プレーヤ-エンソウプログラム	0001>16:10:00	3-1-08
A:パターン A	0002>16:10:30	3-4-09

2. プログラムメニュー

8. CD演奏の入力を終了する

8-1 曲番を入力し終わると（画面81）が表示されます。[切換]キーを押します。（画面82）が表示されます。

8-2 [選択]ダイヤルで**オワリ**にカーソルを置き[入力/決定]キーを押します。これで入力した内容が保存されます。

メモ

保存するときは必ず8-1,8-2の手順で操作してください。

9. 新たなステップに入力する

9-1 （画面83）でカーソルが点滅しているとき[選択]ダイヤルを回して希望のステップにカーソル表示させ、[入力/決定]キーを押します。（画面84）

9-2 ステップ1と同じ要領で演奏開始時刻の時分秒、ディスク番号、チャンネル、曲番を入力します。

10 入力したステップを削除する

10-1 （画面85）表示中に[選択]ダイヤルで削除するステップにカーソルを置いて[切換]キーを押します。（画面86）が表示されます。

10-2 [選択]ダイヤルで**サクジョ**にカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。（画面87）では従来のステップ01は削除され代わりに従来のステップ02が繰り上がっています。

11 ステップを挿入する

11-1 （画面88）表示中に[選択]ダイヤルで挿入する一つ前のステップにカーソルを置いて[切換]キーを押します。（画面89）が表示されます。

11-2 [選択]ダイヤルで**ソウニユウ**にカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。（画面90）では指定したステップの次の行に指定行の内容が挿入コピーされています。（画面88）でこの位置にあったステップ内容は挿入行の後に順送りされます。

11-3 挿入したステップの演奏開始時刻の時分秒、ディスク番号、チャンネル、曲番を入力します。

画面81

プレーヤーインソフプログラム	0001>15:10:00 3-4-08
A:ハターン A	0002>

画面82

サクジョ ソウニユウ オワリ	0001>15:10:00 3-4-08
A:ハターン A	0002>

画面83

プレーヤーインソフプログラム	0001>15:10:00 3-4-08
A:ハターン A	0002>

画面84

プレーヤーインソフプログラム	0001>15:10:00 3-4-08
A:ハターン A	0002>

画面85

プレーヤーインソフプログラム	0001>15:10:00 3-4-08
A:ハターン A	0002>16:10:00 1-8-06

画面86

サクジョ ソウニユウ オワリ	0001>15:10:00 3-4-08
リレー No.1	0002>16:10:00 1-8-06

画面87

プレーヤーインソフプログラム	0001>16:10:00 1-8-06
A:ハターン A	0002>17:10:00 5-2-31

画面88

プレーヤーインソフプログラム	0001>15:10:00 3-4-08
A:ハターン A	0002>16:10:00 1-8-06

画面89

サクジョ ソウニユウ オワリ	0001>15:10:00 3-4-08
A:ハターン A	0002>16:10:00 1-8-06

画面90

プレーヤーインソフプログラム	0001>15:10:00 3-4-08
A:ハターン A	0002>15:10:00 3-4-08

プレーヤ応答プログラムの設定 (2-2-4プレーヤアウトウ)

このプログラムはプレーヤが本機以外の機器からの制御で演奏を開始したとき、本機のリレーをそれに連動させるための設定です。

操作の例はプレーヤが「4枚目のディスク」の「3チャンネル」の「6曲目」を演奏したとき、本機の「リレー3をON」にする設定です。

1. パターンメニュー

2-2パターンメニュー (画面91) 表示中に、[選択]ダイヤルで4.プレーヤアウトウにカーソルを移動して[入力/決定]キーを押します。

2. パターンの選択

(画面92) で[選択]ダイヤルを回してパターンBにカーソルを移動し[入力/決定]キーを押します。

3. ステップ

(画面93) で[入力/決定]キーを押します。

4. ディスクを指定する

(画面94) で[選択]ダイヤルを回し希望のディスク番号を指定し[入力/決定]キーを押します。カーソルがチャンネルの位置に移動します。

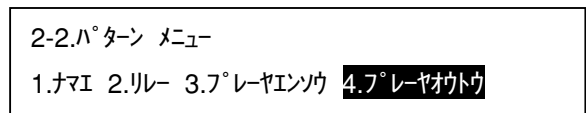
5. チャンネルを指定する

(画面95) で[選択]ダイヤルを回して希望のチャンネル番号を指定し[入力/決定]キーを押します。カーソルが曲番号の位置に移動します。

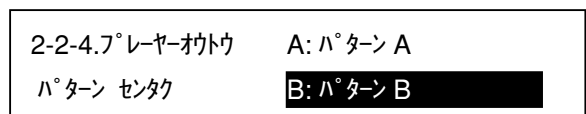
6. 曲番号の指定

(画面96) で[選択]ダイヤルを回し希望の曲番号を指定して[入力/決定]キーを押します。カーソルがプレーヤの演奏に連動するリレー設定の位置に移動します。(画面97)

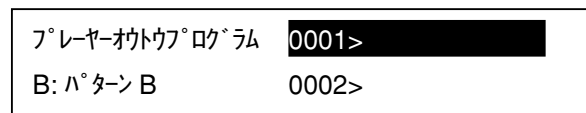
画面91



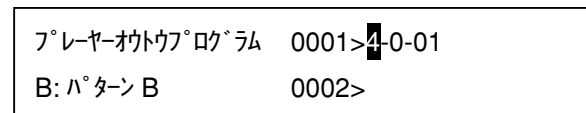
画面92



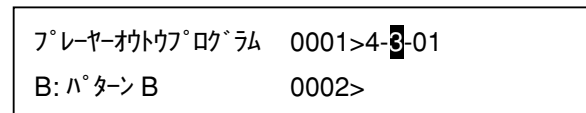
画面93



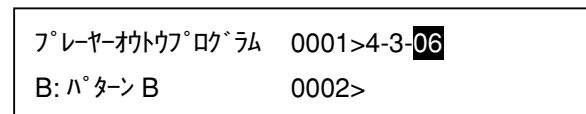
画面94



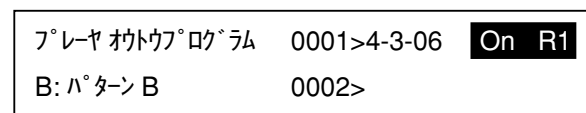
画面95



画面96



画面97



メモ

●この設定はCDミュージックプレーヤの曲目によって放送するエリアを分ける場合などに便利です。連動したリレーでアンプの放送制御を行い特定の曲をそのアンプがカバーするエリアに放送する用途に使えます。

●この設定は本機以外の機器がプレーヤを制御したときのみ有効です。

2. プログラムメニュー

7. 連動リレーの設定

7-1 (画面97) 表示中に [選択]ダイヤルを回してこの例では On を選択します。

リレーの設定は次の4種類から選択します。

- ・ On : 指定曲が演奏開始時にリレーをOnする
- ・ Off : 指定曲が演奏開始時にリレーをOffする
- ・ Tgl : トグル (反転)、指定曲が演奏開始時にリレーがOnならOffに、OffならOnにする
- ・ Make : メイク、指定曲が演奏開始時にリレーをOnにして保持、演奏終了時にOffする

7-2 [入力/決定]キーを押します。カーソルがリレー番号に移動します。

8. リレー番号の設定

(画面98) で [選択]ダイヤルを回し希望のリレー番号 (この例はリレー3) を指定して [入力/決定]キーを押します。

9. プレーヤ応答プログラムの終了

9-1 (画面99) で [切換]キーを押します。

9-2 (画面100) で [選択]ダイヤルを回してオワリにカーソルを置き [入力/決定]キーを押します。これで入力した内容が保存されます。

メモ

保存するときは必ず9-1,9-2の手順で操作してください。

10 入力したステップを削除する

10-1 (画面101) 表示中に [選択]ダイヤルで削除するステップにカーソルを置いて [切換]キーを押します。(画面102) が表示されます。

10-2 [選択]ダイヤルでサクジョにカーソルを置いて [入力/決定]キーを押します。(画面103) が表示されます。今まで一つ後ろにあったステップの内容が繰り上がって表示されます。

11 ステップを挿入する

11-1 (画面104) 表示中に [選択]ダイヤルで挿入する一つ前のステップにカーソルを置いて [切換]キーを押します。(画面105) が表示されます。

11-2 [選択]ダイヤルでソウニユウにカーソルを置いて [入力/決定]キーを押します。(画面106) では指定したステップの次の行に指定行の内容が挿入コピーされています。(画面105) でこの位置にあったステップ内容は挿入の後に順送りされます。

11-3 挿入したステップの設定をします。

画面97

プレーヤ オクトワ°プログラム	0001>4-3-06	On R1
B: パターン B	0002>	

画面98

プレーヤ オクトワ°プログラム	0001>4-3-06	On R3
B: パターン B	0002>	

画面99

プレーヤ オクトワ°プログラム	0001>4-3-06	On R3
B: パターン B	0002>	

画面100

サクジョ ソウニユウ オワリ	0001>4-3-06	On R3
B: パターン B	0002>	

画面101

プレーヤ オクトワ°プログラム	0001>4-3-06	On R3
B: パターン B	0002>4-3-07	On R5

画面102

サクジョ ソウニユウ オワリ	0001>4-3-06	On R3
B: パターン B	0002>4-3-07	On R5

画面103

プレーヤ オクトワ°プログラム	0001>4-3-07	On R5
B: パターン B	0002>	

画面104

プレーヤ オクトワ°プログラム	0001>4-3-06	On R3
B: パターン B	0002>4-3-07	On R5

画面105

サクジョ ソウニユウ オワリ	0001>4-3-06	On R3
B: パターン B	0002>4-3-07	On R5

画面106

プレーヤオクトワ°プログラム	0001>4-3-06	On R3
B: パターン B	0002>4-3-06	On R3

スケジュール (2-3スケジュール)

既に登録したパターンをスケジュールとして1週間の各曜日に割り当てます。プログラムの実行はスケジュールに登録されたパターンを実行します。ここではパターンAに日曜日用、パターンBに平日用の名前を付けた例で説明します。(21ページをご覧ください)

操作の例は3つのパターンを各曜日に割り当てています。

Sun (日曜日) : 日曜日用パターン

Mon~Fri (月曜日~金曜日) : 平日用パターン

Sat (土曜日) : 土曜日用パターン

1. プログラムメニュー

2.プログラムメニュー (画面107) で3.スケジュールにカーソルを置いて[入力決定]キーを押します。

2. 曜日選択 (日曜日)

(画面108) で[選択]ダイヤルを回しSunにカーソルを置いて[入力決定]キーを押します。

3. パターン選択

(画面109) で[選択]ダイヤルを回し A : ニチヨウビヨウにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。パターン選択 (画面110) が表示されます。これで日曜日用パターンが日曜日に登録されました。

4. 次の曜日選択(月曜日)

(画面111) 表示中に[選択]ダイヤルでMonにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。パターン選択が表示されます。

5. 次のパターン選択

(画面112) で[選択]ダイヤルを回して B : ヘイジツヨウにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。パターン選択 (画面113) が表示されます。これで平日用パターンが月曜日に登録されました。

火、水、木、金、土の各曜日にも同様にしてパターンを登録します。

6. 時計表示に戻る

スケジュールの登録が終わったら[取消]キーを3回押して時計表示に戻ります。

画面107

2.プログラムメニュー

1.リレー名 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウト 5.プログラム

画面108

2-3.スケジュール

Sun: **セッテイサレテイマセン**

ヨウビ センタク

Mon: **セッテイサレテイマセン**

画面109

スケジュール

A: ニチヨウビヨウ

Sun: パターンセンタク

B: ヘイジツヨウ

画面110

2-3.スケジュール

Sun: ニチヨウビヨウ

ヨウビ センタク

Mon: **セッテイサレテイマセン**

画面111

2-3.スケジュール

Sun: ニチヨウビヨウ

ヨウビ センタク

Mon: **セッテイサレテイマセン**

画面112

スケジュール

A: ニチヨウビヨウ

Mon: パターンセンタク

B: ヘイジツヨウ

画面113

2-3.スケジュール

Sun: ニチヨウビヨウ

ヨウビ センタク

Mon: ヘイジツヨウ

2. プログラムメニュー

キー応答 (2-4キーアウトウ)

機能キー (F1,F2) の設定

実行中のプログラムに優先して機能させたい手動操作の項目を、前面パネルの機能キーF1,F2に設定します。機能キーはプログラム実行中のみ働きます。

設定できる機能は次の4種類です。

- 1個のリレーを反転動作させる (トグル: On→Off, Off→On)
- リレー複数個を一括On-Offする
- CDプレーヤーの1曲を再生する
- 実行中のプログラムを他の放送パターン (例: 営業時間延長) に切り換える

■機能キーでリレーを反転動作させる設定

例は「F2」キーに「リレー2」「Tgl」を設定する操作です。

1. プログラムメニュー

2プログラムメニュー (画面114) で4.キーアウトウにカーソルを置いて、[入力/決定]キーを押します。2-4.キーアウトウメニュー (画面115) が表示されます。

2. キー応答メニュー

[選択]ダイヤルで 1: キノウキーにカーソルを置いて [入力/決定]キーを押します。2-4-1キノウキーアウトウ (画面116) が表示されます。

3. キーの選択

[選択]ダイヤルでF02にカーソルを置いて (画面117) [入力/決定]キーを押します。

4. 設定機能の選択

(画面118) ではハイライト幅が短くなります。[選択]ダイヤルを回して「Tgl R1」 (画面119) を表示させます。[入力/決定]キーを押すとカーソルがリレー番号の位置に移動します。(画面120)

5. リレー番号の選択

[選択]ダイヤルを回しリレー番号「2」を表示させて[入力/決定]キーを押します (画面121)。これで機能キーF2の設定が終わりました。

必要なときF1の設定も同様の手順で行います。

画面114

2.プログラムメニュー
1.リレーナビ 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウトウ 5.プログラム

画面115

2-4.キーアウトウメニュー
1.キノウキー 2.ダイレクトキー

画面116

2-4-1.キノウキー F01: ** セッテイナシ **
F02: ** セッテイナシ **

画面117

2-4-1.キノウキー F01: ** セッテイナシ **
F02: ** セッテイナシ **

画面118

2-4-1.キノウキー F01: ** セッテイナシ **
F02: ** セッテイナシ **

画面119

2-4-1.キノウキー F01: ** セッテイナシ **
F02: リレー Tgl R1

画面120

2-4-1.キノウキー F01: ** セッテイナシ **
F02: リレー Tgl R1

画面121

2-4-1.キノウキー F01: ** セッテイナシ **
F02: リレー Tgl R2

■機能キーで複数リレーを一括On-Offする設定

複数の機器を同時に制御するとき使用します。機能キーが押されると8個のリレーはここで設定したOn(+), Off(-)状態に切り換えられ、再度機能キーが押されると元に戻ります。

例は「F2」キーに「リレー1」「リレー3」「リレー4」Onを設定する操作です。

1. プログラムメニュー

2プログラムメニュー（画面122）で4.キーアウトウにカーソルを置いて、[入力/決定]キーを押します。2-4.キーアウトウメニュー（画面123）が表示されます。

2. キー応答メニュー

[選択]ダイヤルで1：キノウキーにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。2-4-1キノウキー（画面124）が表示されます。

3. キーの選択

[選択]ダイヤルでF02にカーソルを置いて（画面125）[入力/決定]キーを押します。

4. 設定機能の選択

[選択]ダイヤルを回して「リレー On/Off」（画面126）を表示させ[入力/決定]キーを押します。

5. リレーの設定(画面127,128,129)

●[選択]ダイヤルを回してカーソルを希望するリレー番号に移動します。

●[入力/決定]キーを押してOn(+), Off(-)を設定します。

6. リレー設定の保存

[取消]キーを押します。（画面130）下段にOnに設定されたリレー番号が表示されます。

更に[取消]キーを4回押すと時計表示に戻ります。

画面122

2.プログラムメニュー
1.リレー名 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウトウ 5.プログラム

画面123

2-4.キーアウトウメニュー
1.キノウキー 2.ダイレクトキー

画面124

2-4-1.キノウキー	F01: ** セッテイナシ **
	F02: ** セッテイナシ **

画面125

2-4-1.キノウキー	F01: ** セッテイナシ **
	F02: ** セッテイナシ **

画面126

2-4-1.キノウキー	F01: ** セッテイナシ **
	F02: リレー On/Off

画面127

リレーのウサセッテイ	1 2 3 4 5 6 7 8
	█-----

画面128

リレーのウサセッテイ	1 2 3 4 5 6 7 8
	⊕-----

画面129

リレーのウサセッテイ	1 2 3 4 5 6 7 8
	+ - ⊕ -----

画面130

2-4-1.キノウキー	F01: ** セッテイナシ **
	F02: リレー On/Off 134

2. プログラムメニュー

キー応答 (2-4キーアウトウ)

■機能キー (F1,F2) でCDプレーヤーの1曲を演奏する設定

操作説明の例は「3曲目」のディスクの「4チャンネル」「5曲目」を演奏する設定です。

機能キーは一度押すとプレーヤーが演奏を開始します。

1. プログラムメニュー

2プログラムメニュー (画面131) で4.キーアウトウにカーソルを置いて、[入力/決定]キーを押します。

2. キー応答メニュー

(画面132) で[選択]ダイヤルを回し 1:キノウキーにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。

3. 機能キーの選択

(画面133) で[選択]ダイヤルを回しF02にカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。

4. 設定機能の選択

(画面134) で[選択]ダイヤルを回して「プレーヤ (画面135)」を表示させます。[入力/決定]キーを押します。

5. 演奏曲の選択

5-1 ディスク番号: [選択]ダイヤルを回し「3」を表示させて (画面136) [入力/決定]キーを押します。カーソルがチャンネルの位置に移動します。

5-2 チャンネルの選択: [選択]ダイヤルを回し「4」を表示させて (画面137) [入力/決定]キーを押します。カーソルが曲番号の位置に移動します。

5-3 曲番号の選択: [選択]ダイヤルを回し「05」を表示させて (画面138) [入力/決定]キーを押します。カーソルが「F02:プレーヤ3-4-05」の行全体をハイライトします。(画面139)

6. プレーヤ演奏設定の終了

これで機能キーF2の設定が終わりました。

必要なときF1の設定も同様に行います。

[取消]キーを4回押すと時計表示に戻ります。

メモ

CDミュージックプレーヤ (WB-651,WB-655) にはRS232Cインターフェース (WB-Z12) を組み込んで使用します。接続は45ページをご覧ください。

画面131

2.プログラムメニュー
1.リレーナI 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウトウ 5.プロ

画面132

2-4.キーアウトウメニュー
1.キノウキー 2.ダイレクトキー

画面133

2-4-1.キノウキー F01:** セッテイナシ **
F02:** セッテイナシ **

画面134

2-4-1.キノウキー F01:** セッテイナシ **
F02:** セッテイナシ **

画面135

2-4-1.キノウキー F01:** セッテイナシ **
F02: プレーヤ 1-0-01

画面136

2-4-1.キノウキー F01:** セッテイナシ **
F02: プレーヤ 3-0-01

画面137

2-4-1.キノウキー F01:** セッテイナシ **
F02: プレーヤ 3-4-01

画面138

2-4-1.キノウキー F01:** セッテイナシ **
F02: プレーヤ 3-4-05

画面139

2-4-1.キノウキー F01:** セッテイナシ **
F02: プレーヤ 3-4-05

■機能キー（F1,F2）でパターンの切換をする設定

急に営業時間が延長になったときなど、プログラム実行中にこのキーを押して「平日用」パターン（この例ではパターンA）からあらかじめ登録しておいた「営業時間延長」パターン（パターンB）に迅速に切り換えられます。操作説明の例は「F2」キーに「営業時間延長」パターンを割り当てる設定です。

1. プログラムメニュー

2プログラムメニュー（画面140）で4.キーアウトウにカーソルを置いて、[入力/決定]キーを押します。2-4.キーアウトウメニューが表示されます。

画面140

2.プログラムメニュー
1.リレー名 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウトウ 5.プロ

2. キー応答メニュー

[選択]ダイヤルを回し 1: キノウキーにカーソルを置いて（画面141）[入力/決定]キーを押します。2-4-1 キノウキーアウトウが表示されます。

画面141

2-4.キーアウトウメニュー
1.キノウキー 2.ダイレクトキー

3. キーの選択

[選択]ダイヤルを回しF02にカーソルを置いて（画面142）[入力/決定]キーを押します。

画面142

2-4-1.キノウキー F01:**セッテイナシ**
F02:**セッテイナシ**

4. 設定項目の選択

（画面143）ではハイライトの幅が狭くなっています。[選択]ダイヤルを回し「パターン」（画面144）を表示させます。[入力/決定]キーを押します。

画面143

2-4-1.キノウキー F01:**セッテイナシ**
F02:**セッテイナシ**

5. パターンの選択

[選択]ダイヤルを回し「B」を表示させて（画面145）[入力/決定]キーを押します。

画面144

2-4-1.キノウキー F01:**セッテイナシ**
F02: PtnA: ハイジツヨウ

6. パターン切換設定の終了

（画面146）ではカーソルが「パターンB」をハイライトします。これでパターン切換の設定が終わりました。

画面145

2-4-1.キノウキー F01:**セッテイナシ**
F02: PtnB: パターン B

必要なときF1の設定も同様に行います。

[取消]キーを4回押すと時計表示に戻ります。

画面146

2-4-1.キノウキー F01:**セッテイナシ**
F02: PtnB: イキョウジカンエンチヨウ

メモ

機能キーに設定するパターンはあらかじめ登録しておいてください。パターン名、各機器の動作の登録方法は21ページから28ページをご覧ください。

2. プログラムメニュー

キー応答 (2-4キーアウトウ)

■ダイレクトキー (外部に設けたスイッチ) の設定

本機後面パネルのダイレクトキー端子に接続したキー (現地製作) をどのように働かせるかを設定します。キーは#1から#16まで外部に設けられます。接続と仕様は46ページの説明をご覧ください。

ダイレクトキーは前面パネルの機能キー (F1,F2) と同様に次の4種類の割付をすることができます。

- 1個のリレーを反転動作させる (トグル: On→Off, Off→On)
- リレー複数個を一括On-Offする
- CDプレーヤーの1曲を再生する
- 実行中のプログラムを他の放送パターン (例: 営業時間延長) に切り換える

操作の基本は機能キーの割付操作と同じです。ただ一つの違いは (画面148) で「1. キノウキー」の代わりに「2. ダイレクトキー」を選択することです。その後の操作方法はそれぞれ30ページから33ページをご覧ください。

■ダイレクトキーでリレーをOn/Offする設定

30,31ページをご覧ください。

■ダイレクトキーでプレーヤーの1曲を演奏する設定

32ページをご覧ください。

■ダイレクトキーでパターンの切換をする設定

33ページをご覧ください。

プログラムリセット (2-5プログラムリセット)

これは2.プログラムメニューで入力した「1.リレー名前」「2.パターン」「3.スケジュール」「4.キー応答」の内容を全て消去するためのものです。

1. プログラムメニュー

2.プログラムメニュー (画面149) で5.プログラムリセットにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。確認画面 (画面150) が表示されます。

2. 確認画面

プログラムリセットを実行するときは[入力/決定]キーを押します。実行しないときは[取消]キーを押します。

3. 終了メッセージ

確認画面で[入力/決定]キーを押すと消去完了メッセージ (画面151) が表示されます。[入力/決定]キーを押します。

4. 時計表示に戻る

[取消]キーを2回押すと時計表示に戻ります。

メモ

この操作によって消去されたデータは回復できません。操作を行う前に必ずプログラミング内容をチャートに保存してください。なお、この操作は1. 設定メニューで入力した内容には影響を与えません。

画面147

2.プログラムメニュー

1.リレー名 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウト 5.プログラムリセット

画面148

2-4.キーアウトメニュー

1.キノウキー 2.ダイレクトキー

画面149

2.プログラムメニュー

2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウト 5.プログラムリセット

画面150

プログラムリセット 実行しますか?

OK ?

画面151

プログラムリセット 完了しました。

OK

3. テストメニュー

テストメニュー

機器の接続が終了した段階で動作を確認するためのメニューです。次の4つの項目をテストします。

- リレー操作**：任意のリレーを手動でOnまたはOffにして接続されている機器の動作を確認します。
- プレーヤー演奏**：CDプレーヤーの動作を確認します。
- リレー動作1**：リレー1～8を10秒間隔で順次Onにして保持するシーケンスを繰り返します。保持タイプの機器（20ページ）のテストができます。
- リレー動作2**：全リレーのOn-Offを1秒間隔で繰り返します。パルスタイプの機器（20ページ）のテストができます。

■リレー操作

1. テストメニュー

3.テストメニュー（画面152）で1.リレーソウサにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。3-1リレーソウサ（画面153）が表示されます。このときのリレー状態表示は今まで実行していたプログラムの状態です。

画面152

3.テストメニュー

1.リレーソウサ 2.プレーヤ演奏 3.リレー動作1 4.リレー動作2

2. リレーの選択

[選択]ダイヤルでテストするリレーの位置にカーソルを移動します。（画面153）ではリレー4を選択しています。

画面153

3-1リレーソウサ

1 2 3 4 5 6 7 8

----■----

3. リレーをOn-Offする

[入力]キーまたは[切換]キーを押すとOn-Offが反転します。プラス「+」はリレーOn、マイナス「-」はOff状態の表示です。（画面154）はリレー4がOn状態で、今からリレー6をテストするところです。

画面154

3-1リレーソウサ

1 2 3 4 5 6 7 8

----+■---

（画面155）の様に指定のリレーをOn-Offさせて接続されている機器が正常に動作しているか確認してください。

画面155

3-1リレーソウサ

1 2 3 4 5 6 7 8

----+■+---

4. 時計表示に戻る

[取消]キーを3回押すと時計表示に戻ります。各リレーはテストメニュー実行前の状態に戻ります。

3. テストメニュー

■プレイヤー演奏

RS-232Cポートに接続されているCDプレイヤーをテストします。

1. テストメニュー

3.テストメニュー（画面156）で2.プレーヤエンソウにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。（画面157）が表示されます。

2. 演奏曲の選択

2-1 ディスクの選択：（画面157）で[選択]ダイヤルを回してテストするディスク番号を表示します。[入力/決定]キーを押すとカーソルがチャンネルの位置に移動します。

2-2 チャンネルの選択：（画面158）で[選択]ダイヤルを回してテストするチャンネル番号を表示します。CD-BGMディスクのときは1~8（画面158）に、音楽CD(CD-DA)のときは0（画面159）にします。[入力/決定]キーを押すとカーソルが曲番号の位置に移動します。

2-3 曲番の選択：（画面160）で[選択]ダイヤルを回してテストする曲番号を表示して[入力/決定]キーを押します。確認画面（画面161）が表示されます。

3. 確認画面

[入力/決定]キーを押すと演奏が始まります。正常に演奏されていることを確認します。

4. 時計表示に戻る

[取消]キーを3回押すと時計表示に戻ります。

画面156

3.テストメニュー
1.リレーウサ 2.プレーヤエンソウ 3.リレーウサ1 4.リレーウ

画面157

3-2.7°プレーヤエンソウ
エンソウスル キョク : 1-0-01

画面158

3-2.7°プレーヤエンソウ
エンソウスル キョク : 1-4-01

画面159

3-2.7°プレーヤエンソウ
エンソウスル キョク : 1-0-01

画面160

3-2.7°プレーヤエンソウ
エンソウスル キョク : 1-4-09

画面161

3-2.7°プレーヤエンソウ
エンソウスル キョク : 1-4-09 OK?

メモ

演奏を開始したプレイヤーを停止するときはプレイヤー自身の停止ボタンを押してください。

■リレー動作1、リレー動作2

保持タイプ機器（21ページ）、パルスタイプ機器（21ページ）を制御するリレーのテストに便利な内蔵シーケンスを実行します。それぞれのリレーがOn-Offするタイミングで対応する機器の動作を確認します。

●リレー動作1のシーケンス（保持タイプ用）

初期状態は全てのリレーがOff→リレー1がOnして保持→10秒後にリレー2がOnして保持→10秒間隔で順次リレー3,4,5,6,7がOnして保持→リレー8がOnして10秒間保持→初期状態

●リレー動作2のシーケンス（パルスタイプ用）

初期状態は全てのリレーがOff → 全リレー1秒間 On → 全リレー1秒間-Off →以降1秒間隔で繰り返す

1. テストメニュー

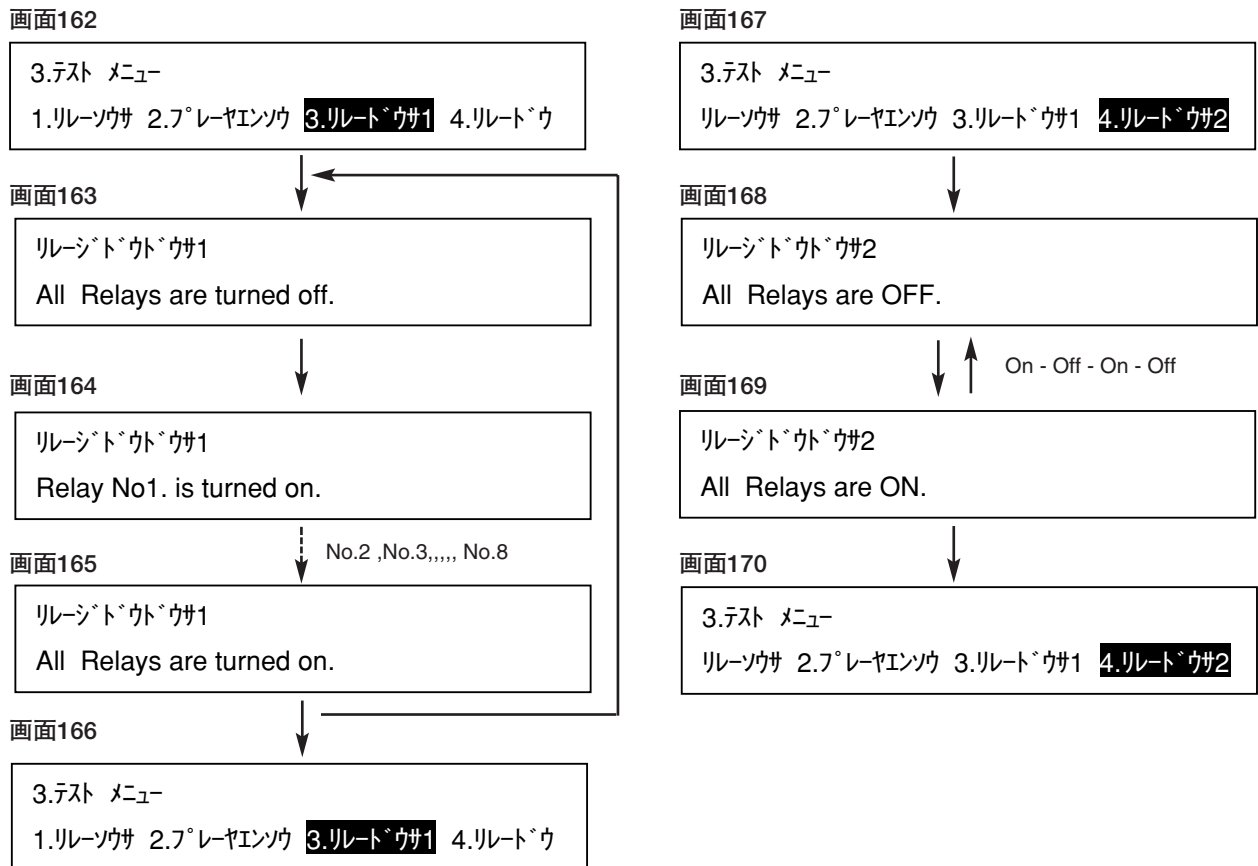
3.テストメニュー（画面162または167）で3.リレードウサ1または4.リレードウサ2にカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。

2. シーケンスの実行

シーケンスが実行され対応する画面が表示されます。それぞれのタイミングで機器の動作を確認します。

3. リレー動作を終了する

[取消]キーを1回押すと3.テストメニューに戻ります（画面166または170）。さらに2回押すと時計表示に戻ります。



リレー動作1（画面162 - 166）

リレー動作2（画面167 - 170）

工事を始める前に

付属品をご確認ください

電源コード（コード長約 2 m） 1	保証書 1
取扱説明書（本書） 1		

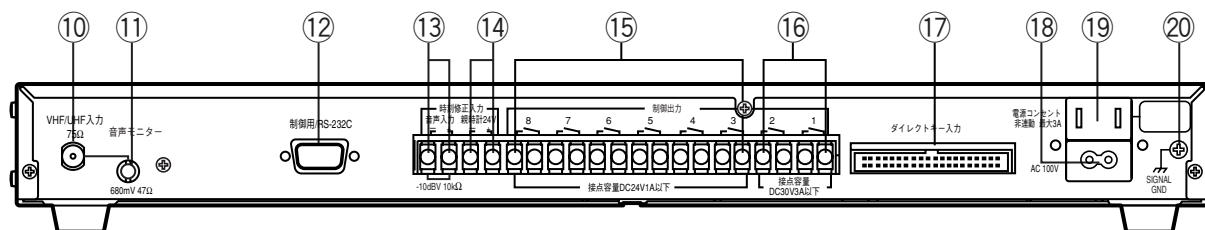
※販売（工事）店様へ

取扱説明書（本書）と保証書は、お客様にお渡しください。

工事上のお願い

- 本機は電源スイッチを持っていません。長期間使用しないなどで本機を電源から遮断するときのために、以下のいずれかが可能な設置をしてください。
 1. 電源コードを「分電盤のサーキットブレーカーで遮断されるACコンセント」に接続して、ブレーカーを「切」にする。
 2. 電源コードを「電源制御ユニットWU-L62などの電源を遮断できる装置のコンセント」に接続して、装置を「切」にする。
 3. 本機後面に容易に手が届く設置にして電源コードを抜く。
- 設置工事は、電源を遮断して行ってください。
- 時刻修正の親時計は30秒式のものをお使いください。本機は1秒式親時計では時刻補正ができません。
- ラックに取り付ける際は温度上昇を緩和するため、電力増幅ユニットとの間隔を1U以上離してください。

[後面パネル] 各部の名前と働き



⑩ TV アンテナ端子[VHF/UHF入力 75Ω]

VHFまたはUHFのテレビジョンアンテナをつなぎます。放送波中の時報(ピッ・ピッ・ピッ・ポーンのポーン音：880 Hz)により内部時計の時刻補正を行います。受信チャンネル設定は設定メニューで行います。この端子の他に⑬⑭でも時刻補正を行えます。電波状況や親子時計有無の条件に合わせて工事してください。

⑪ ヘッドホン端子[音声モニター 680mV 47Ω]

プラグ径がφ3.5mmのヘッドホンをつないで、テレビの音声をモニターし、受信状況を確認します。

⑫ RS-232C ポート[制御用/RS-232C]

BGM演奏装置やCDミュージックプレーヤーなど232C インターフェースを持った機器を接続します。

⑬ 時刻補正入力[音声入力]

FMラジオチューナーの音声出力をつなぎます。放送波中の時報信号 (880 Hz)により内部時計の時刻補正を行います。

⑭ 時刻補正入力[親時計24V]

30秒式親時計をつなぎます。親時計からの24V信号により本機内部時計の時刻補正を行います。

⑮ 制御出力[3,4,5,6,7,8]

制御する機器を接続します。出力時はリレーの接点がメークされます。接点容量は24V 1A以下です。リレーOn-Offのタイミングはプログラミングによって決まります。

⑯ 制御出力[1,2]

制御する機器を接続します。出力時はリレーの接点がメークされます。接点容量はDC30V 3A以下です。リレーOn-Offのタイミングはプログラミングによって決まります。

⑰ ダイレクトキー入力[ダイレクトキー入力]

機能拡張のため外部に設けたキーを接続します。プログラミングによってCDミュージックプレーヤーの1曲演奏などを割り付けられます。

⑱ ACインレット[AC 100 V]

付属の電源コードを接続します。

⑲ ACアウトレット[電源コンセント 非連動 最大 3A]

容量が3A 以下の関連機器を接続します。前面パネルの通電表示が点灯中はAC 100Vが供給されます。

⑳ 信号グランド[SIGNAL GND]

落雷の多い地域やノイズがでる、動作が不安定になるなど必要な場合、他の機器のSIGNAL GND 端子と接続します。

ラックへの取り付けかた

ラックについて

本機を取り付けるラックは、次のいずれかをご使用ください。

スタンダードラック:	WU-RS71	収納ユニット数29U (当社品)
ロングラック:	WU-RS76	収納ユニット数41U (当社品)
EIA規格相当品:	(奥行450mm以上)	(他社品)

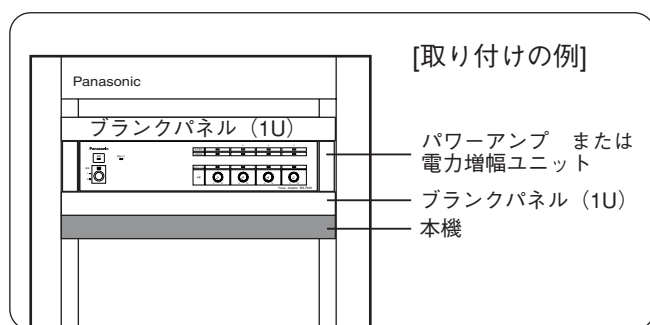
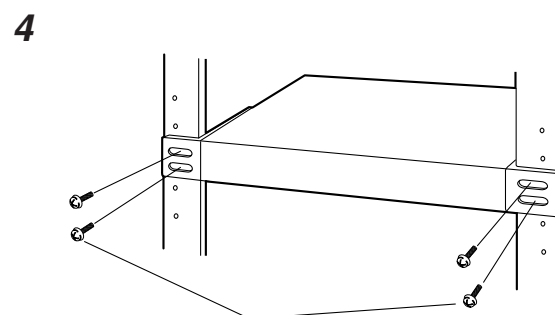
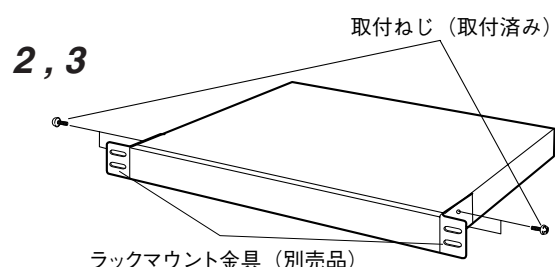
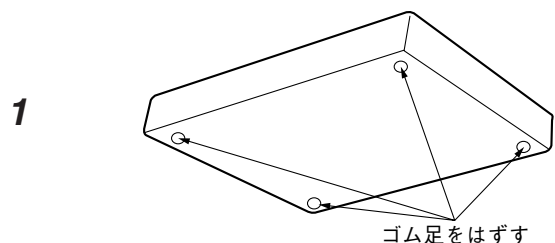
準備するもの

別売の工事部品ラックマウント金具**WQ-LA44S**(左右1セット)をあらかじめご用意ください。

当社以外のラックをご使用の際は別売のラック取付ねじ **W2-MSS/5008(4本)** または **M5X12(4本)** が別途必要になることがあります。(当社製ラックに取り付けるときはラックに付属しているタッピングねじを使います。)

ラックに取り付ける

- 1 底面のゴム足(4個)を取り外す
- 2 本機両側面の取付ねじ4本を外す
- 3 外したねじでラックマウント金具を本機に取り付ける
- 4 ラック取付ねじで本機をラックに取り付ける



メモ

- ラック内にパワーアンプや電力増幅ユニットがある場合、本機をそれらの機器の下側に1U以上離してマウントしてください。
- ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。

接続のしかた

制御出力の接続

リレーの制御容量は出力番号により異なります。この容量を超えない相手機器をそれぞれに接続します。

出力1、2：	DC30 V 3A
出力3～8：	DC24 V 1A

リレーの動作を相手機器のタイプに合わせてプログラミングしてください。(詳細は21ページ)

保持タイプ：	リレーがOnの間動作を保持する機器
パルスタイプ：	最初の1秒間Onで動作開始、次の1秒間Onで動作停止

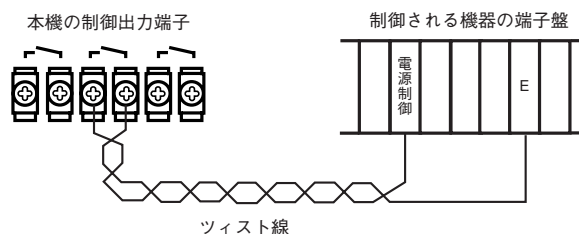
■非常放送、ラックアンプ、調整卓のとき

●電源制御

ラックアンプ、音声調整卓の端子盤にある電源制御端子とつなぎます。相手機器の電源の入切を制御します。

プログラミングのしかた

相手機器の電源投入時にリレーをOnしてそのまま保持、電源切断時にOffするようにします。

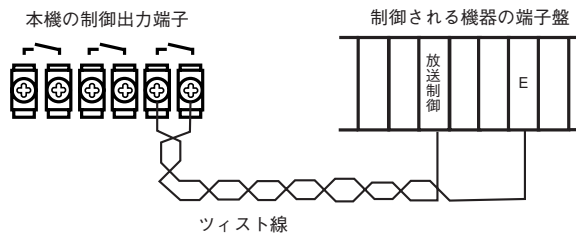


●放送制御

防災アンプ、ラックアンプ、音声調整卓の端子盤にある放送制御端子とつなぎます。相手機器の電源を入れて、一斉または個別放送状態にします。

プログラミングのしかた

相手機器の放送開始時にリレーをOnしてそのまま保持、放送終了時にOffするようにします。



接続のしかた

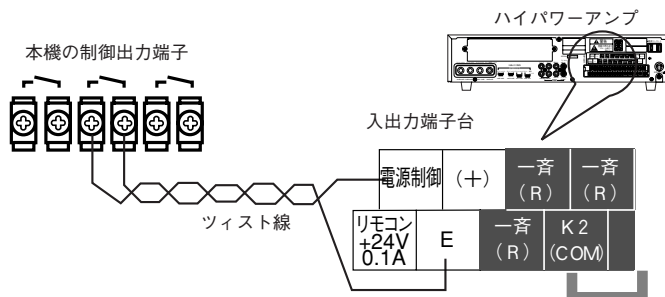
■ハイパワーアンプのとき

●放送制御

アンプの電源を入れ一斉放送の状態にします。

プログラミングのしかた

リレーのプログラミングは電源投入時にOnして、そのまま保持、電源切断時にOffするようにします。



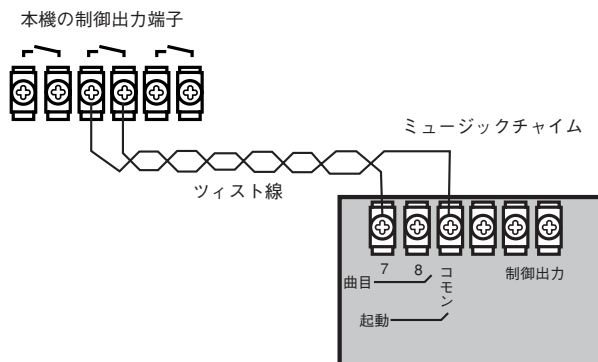
■チャイムのとき

本機でチャイムを起動します。

プログラミングのしかた

●パルスタイプのチャイムではリレーを1秒間 On します。チャイムは指定された曲の演奏を終えて停止します。

●保持タイプのチャイムでは曲の演奏を続ける間リレーをOnし続けます。



メモ

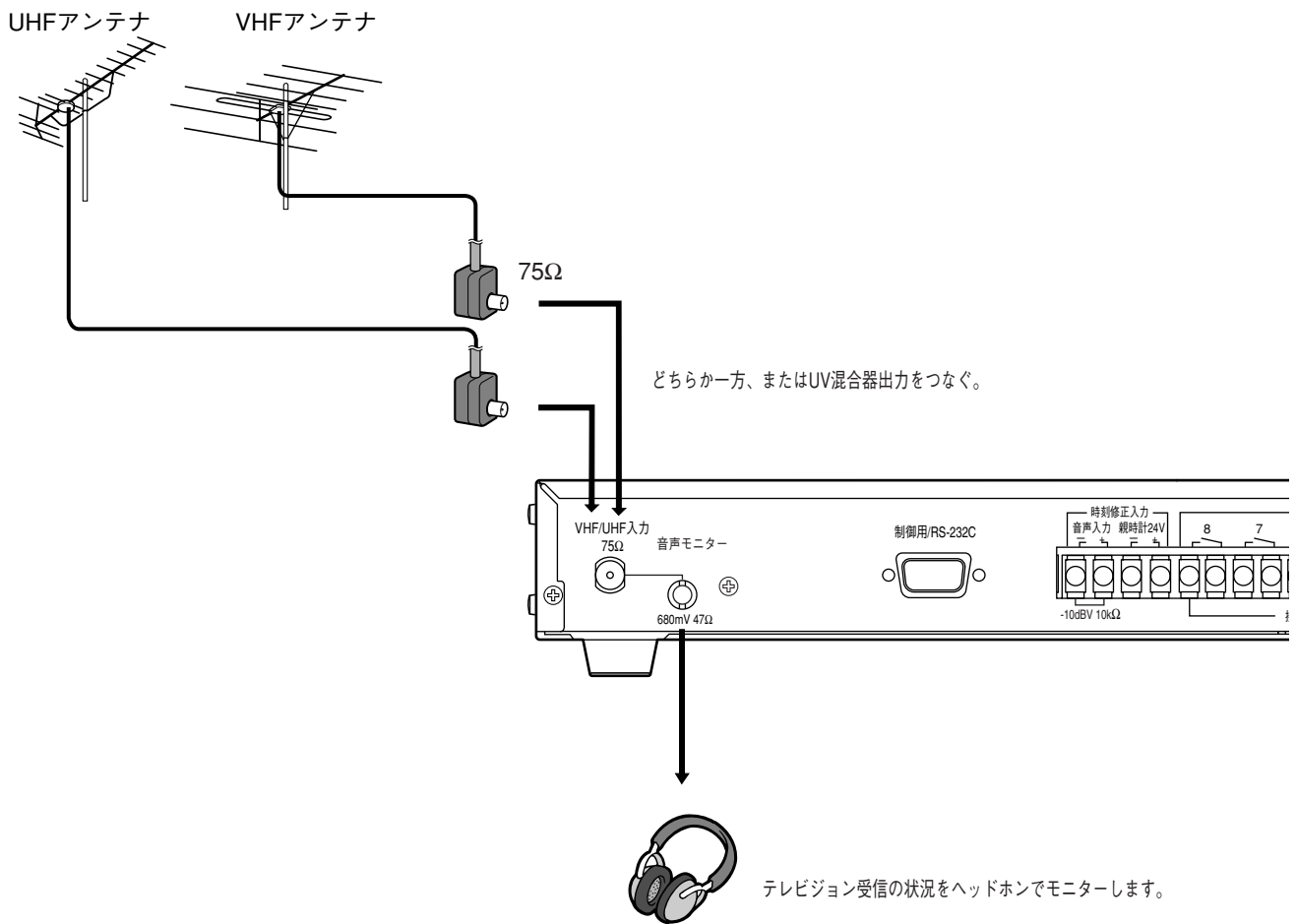
詳しい方法はそれぞれ相手機器の説明書をご覧ください。

■自動時刻補正入力への接続

TVアンテナ、親時計、FMラジオの接続方法を示します。

●テレビアンテナの接続

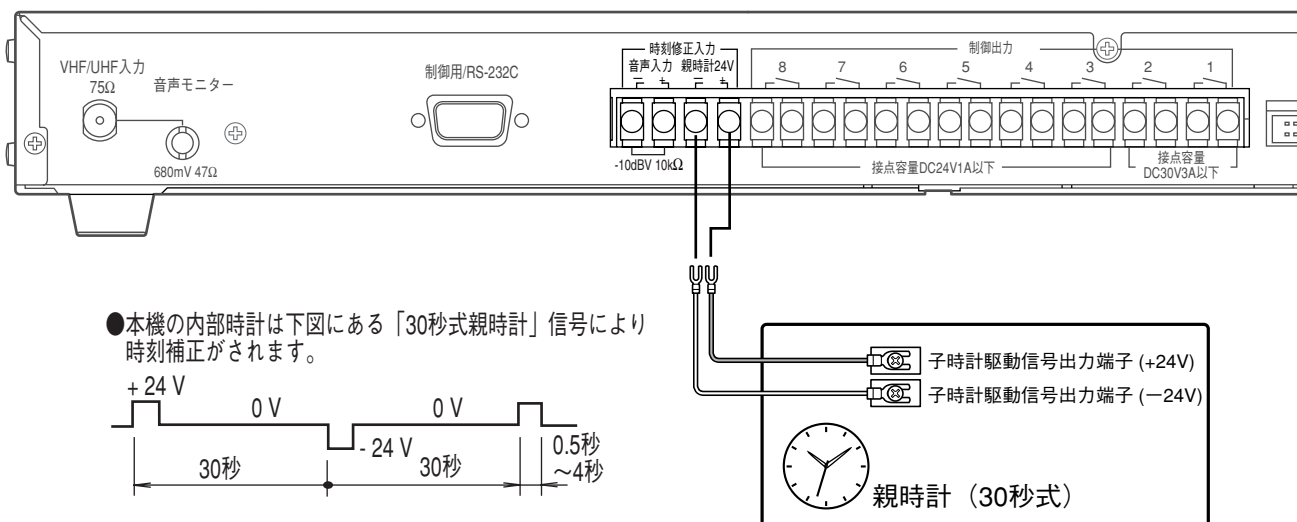
アンテナ、アンテナ整合器、ケーブル類を用意してください。工事の詳細はそれぞれの説明書をお読みください。接続のあと受信チャンネルの設定（14ページ）、時報レベルの設定（15ページ）を行ってください。



接続のしかた

●親時計

30秒式親時計の出力24Vを本機につなぎます。プラス/マイナスをテスターで確認の後、極性を合わせて接続します。

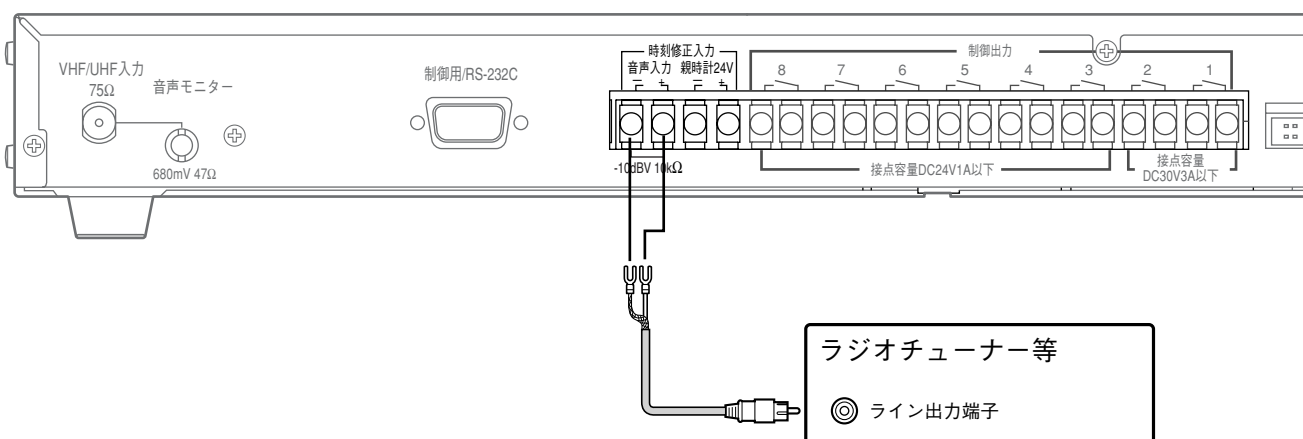


メモ

1秒式の親時計で本機の時刻補正はできません。30秒式親時計を接続してください。

●FMラジオチューナー

FMラジオチューナーの音声出力を接続します。接続のあと時報レベルの設定（15ページ）を行ってください。



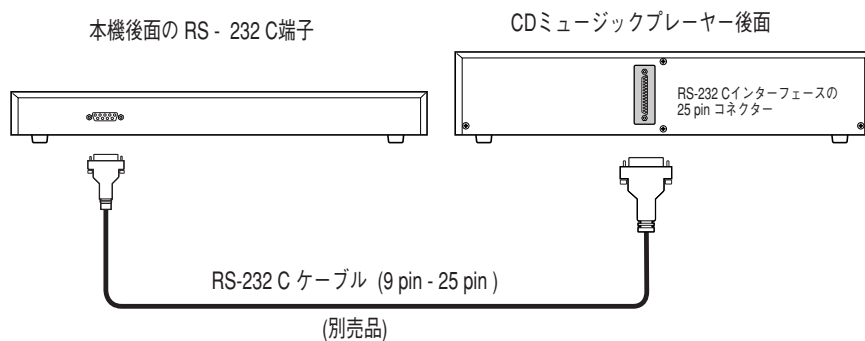
メモ

- NHK-FMを正常に受信していることをラジオのスピーカーで確かめてください。
- スピーカー出力を接続しないでください。故障の原因となります。必ずライン出力をつないでください。

RS-232Cポートの接続

■ CDミュージックプレーヤーの場合

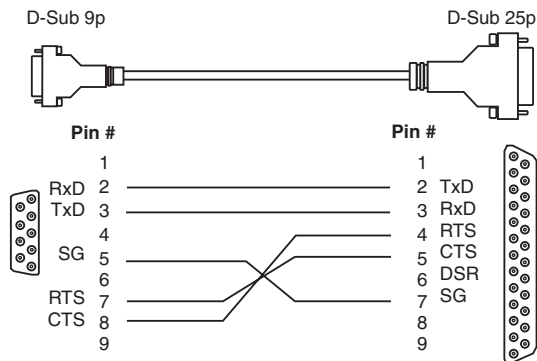
後面パネルのRS-232C端子に232C機能を装備したCDミュージックプレーヤーを接続します。プログラムによる制御、機能キーやダイレクトキーによる操作で指定曲を演奏します。



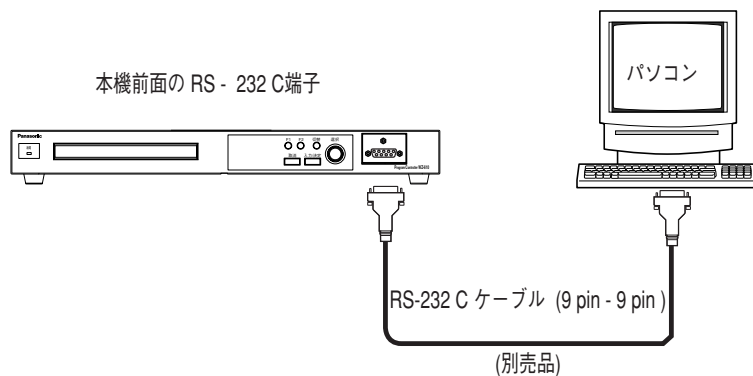
接続ケーブルの仕様を右に示します。

メモ

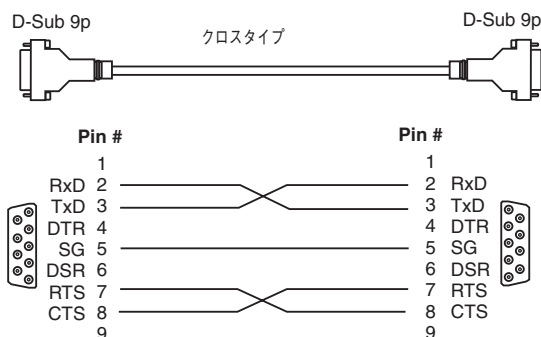
- CDミュージックプレーヤー(WB-651またはWB-655)にはRS-232Cインターフェース(WB-Z12)を組み込んで使用します。詳細はそれぞれの説明書をお読みください。
- この制御は1曲指定の再生のみ可能です。



■ パソコンの場合



前面パネルのRS-232C端子にパソコンを接続します。



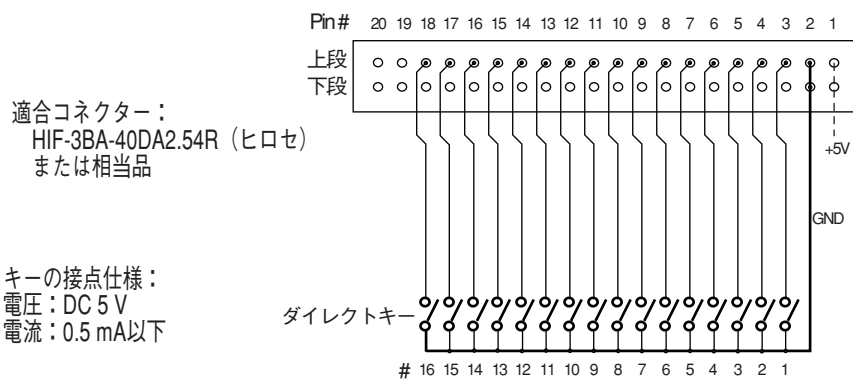
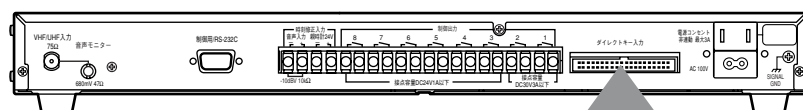
メモ

詳細はパソコンの説明書をお読みください。

接続のしかた

ダイレクトキーの接続

後面のダイレクトキー端子に現地で製作する最大16個のキーを接続できます。ダイレクトキーはプログラムでCDやアナウンスマシンの演奏をさせる割り付けができます（34ページ）。



メモ

本機はダイレクトキーへのキーロック設定機能（キーを押されても無効にする）を備えておりません。ダイレクトキーの取り扱いに注意が要る場合、スイッチプロテクターなどで機械的な保護をしてください。

故障と思われましたら

ご使用中に故障かなと思われる症状が生じたときは下の表のように確認をしてください。

また、次ページにある各種のエラー表示に従って確認をしてください。

それでも直らないときは電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へご連絡ください。

症状	確認	処置	ページ
電源が入らない	電源コードが抜けていませんか？	電源コードを接続します	39
キーを押しても反応がない	キーロックがかかっていませんか？	キーロックを解除します	7,18
TVチューナーによる時刻補正ができない	アンテナが接続されていますか？	アンテナ線を接続します	43
	チャンネルが合っていますか？	受信チャンネルを設定します	14
	しきい値が高すぎませんか？	正しく設定する	15
	補正範囲を超えていませんか？	誤差±5秒に時計を合わせる	13
プログラムが実行できない	スケジュールにパターンが登録されていますか？	プログラムのエラーに関するページをお読みください	7,48,49
	エラー表示が出ていませんか？	プログラムのエラーに関するページをお読みください	7,48,49
画面上に一定間隔でメッセージが表示される	本機に異常が発生しているおそれがあります	テストプログラムを実行します	35
	直前に機能キーを押しましたか？	異常ではありません	8,9
画面表示が見にくい	バックライトが消灯していませんか？	バックライトの設定を点灯にします	16
電源を切った後、時計が狂ってしまう	内蔵バッテリーの寿命サインが出ていませんか？	販売店に内蔵バッテリーの交換を相談してください	49
電源投入後バックライトが点滅している	故障が発生しました	販売店に修理を依頼してください	裏表紙
操作中にメッセージが表示される	限界を超えた入力をしようとしていませんか？	操作中のエラー表示についてをお読みください	49

故障と思われましたら

各種のエラー表示

■プログラムのエラー表示

本機は入力されたプログラムが正しいかプログラムを実行する前にチェックをします。エラーが見つかった場合その場所と種類を表示します。

●パターン時間重複エラー（画面171）

- ・パターンAからパターンGを通じて、最も早いステップと最も遅いステップは24時間以内でなければなりません。（正確にはリレープログラムでは24時間、プレーヤ演奏プログラムではそれより1分短い23時間59分以内です。）
- ・パターンについての詳細は21-28ページをご覧ください。

●時刻関係異常エラー（画面172）

- ・リレーOn-Off、ステップの開始時刻と前ステップの終了時刻などが前後した場合表示されます。
- ・プレーヤ演奏プログラムでは一つの演奏開始から次の演奏開始まで1分以上空いていないときもこのエラーとなります。

●プレーヤ指定異常エラー（画面173）

- ・ディスク、チャンネル、曲番の指定にエラーがあるとき表示されます。
- ・一つのディスクに対するチャンネル指定が「1~8」と「0」が混在するときも表示されます。

●時刻異常エラー（画面174）

- ・36時、60分、60秒を越える時刻データが発生したとき表示されます。
- ・RS-232C通信で発生することがあります。書き込みデータを確認してください。

画面171

ハシヨ: パターン 02:00:00 - 26:05:00
ナヨウ: パターンが重複 **OK**

画面172

ハシヨ: パターン A リレー 1 ステップ 37
ナヨウ: ジョク関係異常 **OK**

画面173

ハシヨ: パターン D プレーヤ ステップ 23
ナヨウ: ジプレーヤ指定異常 **OK**

画面174

ハシヨ: パターン A リレー 1 ステップ 37
ナヨウ: ジョク異常 **OK**

各種のエラー表示

■操作中のエラー表示

プログラムの制限ステップを越えて入力しようとするとき表示されます。

●プログラム総ステップ数を越えたとき（画面175）

プログラム入力の総数が4001ステップのとき表示されます。

画面175

4001ステップ° イジ`ヨウニユウリヨクテ`キマセン!

OK

●リレー、プレーヤプログラムが999を越えたとき（画面176）

パターン内のステップ数が1000ステップになると表示されます。

画面176

1000 ステップ° イジ`ヨウニユウリヨクテ`キマセン!

OK

●プレーヤ応答プログラムが100ステップを越えたとき（画面177）

101ステップのとき表示されます。

画面177

100 ステップ° イジ`ヨウニユウリヨクテ`キマセン!

OK

■機械のエラー表示

●プレーヤーエラー（画面178）

プレーヤーに何らかの不具合があるとき表示されます。

：RS-232C通信に不具合があるとき

：ケーブルが異常なとき

：プレーヤーにエラーが生じたとき

：ディスクの種類や枚数に異常があるとき

画面178

1999/04/27 Tue 19:00:25

プレーヤーエラー! プレーヤ カンシテタ`サイ。

●バッテリー交換（画面179）

バックアップバッテリーの寿命が近づいています。早めに販売店に交換を相談してください。

この表示が出てから約2週間程度は電源が遮断されても入力された設定やプログラムは保持されます。

画面179

2004/04/01 Thu 15:20:57

バックアップ° ハ`ッテリ ヲ コウカンシテタ`サイ。

●TVチューナー接続異常（画面180）

アンテナに異常が発生している場合などに表示されません。

画面180

1999/04/27 Tue 19:00:25

TVチューナカ° イジ`ヨウデ`ス。

仕様

●基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	5 W
非連動コンセント	AC100 V 最大 3 A
使用温度範囲	0 °C ~ 45 °C
質量	約2.4 kg
寸法	420 (幅) x 44 (高さ) x 229 (奥行き) mm
仕上げ	前面パネル：AVアイボリー色塗装 マンセル 7.5Y6.8/0.8 近似色 カバー：AVアイボリー色塗装処理銅板 マンセル 7.5Y6.8/0.8 近似色

●入出力

時刻補正入力	VHF/UHFテレビジョンアンテナ 75 Ω x1 (F接栓座) 30秒式親時計 ±24 V x1 (ねじ式端子) 外部音声入力 (FMラジオチューナー) -10 dBV 10 kΩ (ねじ式端子)
ダイレクトキー入力	外部に増設の16キー (現地製作) 接続用端子 40 pin x 1 (HIF3FC-40PA-2.54DSヒロセまたは相当品)
通信ポート	RS-232C 前面パネル (D-Sub 9 pin) RS-232C 後面パネル (D-Sub 9 pin)
接点出力	無電圧メイク接点 8 回路 (ねじ式端子)
接点容量	出力 1, 2 : DC30 V 3 A 以下 出力 3 ~ 8 : DC24 V 1 A 以下
接点出力時間	1 秒~24時間 1秒単位にプログラム可能
ヘッドホン出力	680 mV 47 Ω (φ 3.5 mmステレオミニジャック)

●プログラム

総ステップ数	4000 ステップ
パターン	パターン数：7パターン (A~G) ステップ数 / パターン：999ステップ / 1 パターン
スケジュール	パターンを各曜日に登録
F1,F2	祝祭日パターンなど 1 キーに 1 機能割り当て

●操作部

表示素子	液晶表示 40文字x2行、バックライト付き 通電表示 LED(緑)
操作素子	[選択]ダイヤル、[F1]キー、[F2]キー、[切換]キー、[入力/決定]キー、[取消]キー

WZ-610 プログラミングチャート A (枚中 ページ)

作成日： 年 月 日 作成者：

パターン名登録表	
(平日用、祝祭日用のように記入)	
パターンA []
パターンB []
パターンC []
パターンD []
パターンE []
パターンF []
パターンG []

スケジュール登録表	
(各曜日に設定するパターン記号/名を記入)	
日曜日(Sun) []
月曜日(Mon) []
火曜日(Tue) []
水曜日(Wed) []
木曜日(Thu) []
金曜日(Fri) []
土曜日(Sat) []

リレー名登録表	
(接続機器名を記入)	
リレー 1 []
リレー 2 []
リレー 3 []
リレー 4 []
リレー 5 []
リレー 6 []
リレー 7 []
リレー 8 []

各種の設定登録表	
1-2. TVチューナーCH []
1-3. 時報レベルしきい値 []
1-3. 時報レベル 縮尺 []
1-4. LCDバックライト []
1-5. オートスタート []
1-7. 演奏スタンバイ []

機能キー設定表

割付 キー#	なし	リレー		プレーヤー演奏		パターン切換
		On/Off	Tgl	Dsc# - CH# - Sng#		
1		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
2		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G

ダイレクトキー設定表

割付 キー#	なし	リレー		プレーヤー演奏		パターン切換
		On/Off	Tgl	Dsc# - CH# - Sng#		
1		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
2		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
3		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
4		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
5		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
6		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
7		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
8		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
9		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
10		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
11		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
12		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
13		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
14		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
15		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G
16		1 2 3 4 5 6 7 8		- -		A B C D E F G

WZ-610 プログラミングチャートB (枚中 ページ)

パターン記号： A B C D E F G

パターン名：

チェック	リレー番号	プレーヤー 演奏 Dsc# - CH# - Sng#	開始時刻	終了時刻	備考
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	

WZ-610 プログラミングチャートB (枚中 ページ)

パターン記号: A B C D E F G

パターン名:

チェック	リレ-番号	プレーヤー 演奏 Dsc# - CH# - Sng#	開始時刻	終了時刻	備考
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	

WZ-610 プログラミングチャートB (枚中 ページ)

パターン記号： A B C D E F G パターン名：

チェック	リレー番号	プレーヤー 演奏 <small>Dsc# - CH# - Sng#</small>	開始時刻	終了時刻	備考
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	
	1 2 3 4 5 6 7 8	- -	: :	: :	

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼される時

47ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、
お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、プログラムコントローラーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WZ-610
	販売店名	☎ ()	—			

松下電器産業株式会社

ブロードメディア本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410